

工学院大学 **校友会報** TOKYO URBAN TECH



今年は第3回代議員選挙の年です

2016年は、2年に1度行われる代議員選挙の年です。

校友会が更に活性化し、母校の存在価値を高めていくことを期待して、前回までの選挙制度を大きく変えて実施しますので、一人でも多くの代議員選挙に投票参加をお願いします。

変更点

1. 同窓会の垣根が無くなり全国区に!

自分の所属する同窓会以外の立候補者へも投票できるようになりました。

2. 2名以上の推薦人がいれば誰でも立候補!

校友会の正会員で、2名以上の推薦人を立てれば誰でも立候補できます。ただし、就任時の年齢が75歳未満であることが必要です。

※今回は2月末で立候補受付が締切られました。

3. 議員定数が変動定数(75名~120名)に!

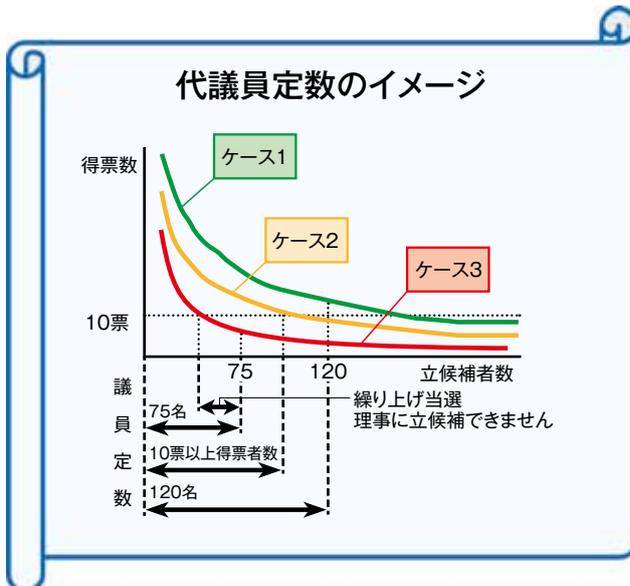
右の図をご覧ください。

ケース1: 得票数上位120位までで得票数が10票以上であれば120人までが当選。

ケース2: 得票数10票以上の人が75人以上120人未満の場合は、10票以上獲得した人全員が当選。

ケース3: 得票数10票以上の人が75人未満の場合は、得票数上位75位までの人が当選。

ただし、得票数10票未満の人は繰り上げ当選者とし、理事に立候補することはできません。



投票までのスケジュール

選挙公報は校友会ホームページに掲載してあります。また、本紙に同封してあります。

2月29日(月):立候補締切 合計110名立候補

5月 2日(月):投票受付開始

6月30日(木):投票受付締切

7月15日(金):選挙結果発表(校友会ホームページに掲載)

投票方法(下記のいずれかで投票ください。)

 **FAX送信で投票** : 校友会報に同封されている選挙公報の表紙裏の投票用紙に必要事項を記入の上、ご送信ください。(送信後、電話で確認をお願いします。)

 **郵送して投票** : 校友会報に同封されている選挙公報の表紙裏の投票用紙を切り取り、必要事項を記入の上、同封の返信用封筒に入れてご投函ください。投票受付締切日当日の消印まで有効です。

 **E-mailで投票** : 候補者氏名・投票人会員番号・投票人氏名を明記の上 jimu3@kogakuin.or.jp に送信して下さい。

CONTENTS

ご挨拶

- 02 一般社団法人 工学院大学校友会 会長 田中英生
- 03 学校法人 工学院大学 理事長 高田 貢
- 03 工学院大学 学長 佐藤 光史
- 03 工学院大学附属中学校・高等学校 校長 平方 邦行

イベント報告

- 04 第3回定時社員総会(第59回総会)報告
- 04 第4回定時社員総会のご案内
- 05 新春の集い2016
- 06 2015年度 第3回 全国支部長会報告
- 07 科学教室での校友会の情宣活動と校友による演示テーマへの参画

学園Topics

同窓会特集

- 14 機械系同窓会活動紹介
- 16 化学系同窓会活動紹介
- 18 電気系同窓会活動紹介
- 20 建築系同窓会活動紹介
- 22 高校同窓会活動紹介
- 24 専門学校同窓会活動紹介

OB・OG会特集

- 26 体育会連合OB会
- 27 三和シャッター工学院OB会
- 27 関電工・工学院大学OB会(角笛会)
- 28 グリークラブOB会
- 28 マンドリンクラブ「KMC」OB・OG会
- 29 男声コーラス部アニュアルリング・エコーOB会「樹輪の会」
- 29 落語研究会OB会

全国の支部から

- 30 埼玉県西支部／相模支部／島根県支部／広島県支部

各部会の報告

- 34 総務部／財務部／広報部／同窓会組織部／支部組織部／学園連携部

事務局の報告

- 37 第10回東京マラソン応援活動を終えて
- 37 ホームカミングデーの開催支援と独自企画での参画
- 38 2016年度校友会の主な行事予定／学生・生徒の表彰報告(2015年度総会において)／学術講演会
- 39 受章報告／校友会談話室のご利用について／ファカルティクラブのご利用について／訃報
- 40 教育・研究環境の整備事業募金
- 41 第18回工学院大学校友会 全国大会・北海道大会
- 42 維持協力会費納入者ご芳名

ご挨拶



一般社団法人 工学院大学校友会

会長 田中英生

Hideo Tanaka

2016 校友会の 更なる活性化に向けて

皆さん、こんにちは、校友会会長の田中でございます。

早いもので、昨年、会長を仰せつかってから、もう1年が経ってしまいました。昨年5月の総会時に、私は「校友会の更なる活性化に向けて」と題しまして、お話をさせて頂きました。

校友会の2つの大きな目的である、学園の教育事業の援助と発展に資する事と、校友の親睦提携をはかる事の両方の目的達成の為に、一にも二にも、中央の大きなイベントや地方支部のイベント、同窓会の催し物をより活性化させ、参加者を増やす事に尽きると申し上げました。全てはここから始まるわけで、その結果として、校友間の親睦の輪がさらに広がり、同時に増えた母数の中から有為な人材を発掘し、継続的に学園へ送る事ができ、一石二鳥だと申し上げました。こうして校友会の体力が築かれていくことで、学園と校友会の連携がより大きなものになっていき、かつ有意義なものになって行くわけであります。

この思いで活動してきました校友会の一年間を少し振り返って見たいと思います。

ご存知のように、校友会には6つの部があり、各部は定められた業務分掌に従って、粛々と業務を進めておりますが、更なる活性化へ向けて力を入れている事があります。

1. 総務部につきましては、大幅な改訂をしました新しい代議員選挙規則に則った選挙の実施と、それに伴う今後の体制変化に対応した諸規則類の整備作業も進めています。
2. 財務部につきましては、財務体質のスリム化と効率化に向けての収支の詳細な見直しとその対策の実施です。
3. 広報部につきましては、HPや校友会報のページ増設による校友会活動のタイムリーな発信の増加、各同窓会情報、支部情報の今まで以上の発信や、他の部の活動の側方からの広報支援などです。
4. 同窓会組織部につきましては、大変盛会だった「新春の集い」を始めとした校友会イベントの一層の拡大充実を目指しております。これからの各種行事の創意工夫をお楽しみ頂きたいと思っております。
5. 支部組織部につきましては、1年後の全国大会・北海道大会を始めとした支部イベントの拡大充実の為に支援と、各支部の皆様のモチベーションアップにつながる仕掛け作りなどです。
6. 学園連携部につきましては、校友の皆様の実社会経験を生かした学園との連携の拡大と質の向上というテーマで、シーズの発掘、整理とその体制構築を進めています。

また、学園後援会の皆様とは、父母懇談会などへの参加を始め、校友会の学生表彰制度などにご参加頂く事などで連携を深めているわけですが、同時に学園に対する支援という共通の目的の中で、社会人としての経験を校友子女の支援に生かせないものかを模索しております。すぐに結果の出るものと、少し時間を必要とするものがありますが、今年も一年頑張りたいと思います。

ご挨拶



多目的メディアセンターができます

学校法人工学院大学 理事長 **高田 貢**

●Mitsugu Takada

現在、皆様の母校は新宿と八王子キャンパスに附属中学・高等学校約1,200名、大学4学部15学科約6,000名、大学院1研究科6専攻約500名、合計7,700名の学生・生徒が学ぶ学園です。近年、知識基盤社会の到来によりグローバル化やICT化が加速度的に進み社会の価値観はめまぐるしく変わっております。そのような環境下で我が国の私立中学・高等学校・大学の教育に対する期待や評価の尺度が大きく変わり、学校間競争が激しくなっております。そのような中で、本学園が社会から評価され受験生から選ばれ、そして在学生・生徒が誇りを持って学べる学園づくりが肝要です。その一環として、学部の新設・改組、また学習空間を備えた多目的メディアセンター（図書館を含む）等の先端的な新教育施設の整備等、積極的に進めております。校友の皆さまにおかれましては、母校により関心を持って頂き、何卒ご支援くださいますようお願い申し上げます。



『工』の精神

工学院大学 学長 **佐藤 光史**

●Mitsunobu Sato

卒業生の皆様には、健やかにご活躍のこととお慶び申し上げます。

工学部のみでスタートした本学は、2006年に複数学部に移行し始め、2016年度は新たな4学部15学科体制となりました。大学院修士課程6専攻・博士課程5専攻と併せて、学問領域の拡大を図りながら教育・研究活動を展開しています。これらは、工学院大学建学の精神「社会・産業と最先端の学問を幅広くつなぐ『工』の精神」に沿って、科学技術を中心とするイノベーションに貢献できる有意な人材を継続的に輩出するための活動です。

グローバル化する知識基盤社会における皆様の躍進が、大学の発展を支える礎です。引き続きご活躍賜りますと共に、さまざまな場面でのご協力をお願い申し上げます。



附属中高は『未来志向の学校』であり続ける!!

工学院大学附属中学校・高等学校 校長 **平方 邦行**

●Kuniyuki Hirakata

校友会の皆様には平素より附属中高の教育に、ご理解ご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

急進展するグローバル化の中で、工学院大附属中学校は「多文化」「多言語」を意識した21世紀型教育を推進する為に「ハイブリッド」という冠を付けた特色ある3つのクラスで2015年度をスタートしました。それは「未来志向の学校」であり続けると同時に、未来志向の入学生に対して決して裏切らない教育を実現するための決意表明でもありました。そして、2016年度は2年目を迎えます。

また欧米を中心とした世界の教育改革の流れは、グローバル資本主義社会で覇権を握ることにあり、グローバルリーダーを育成して、自らの国がグローバルスタンダードを示すことをめざしています。

附属中高は、この時代の先頭に立って、新しいテクノロジーに取り組む「挑戦」、そして新しいアイデアを生み出す「創造」、世界の痛みを受け入れ、世界の人々と共に学び生きて行く「貢献」という3つの意識をしっかりと抱く若者を育成して行きます。

第3回定時社員総会(第59回総会)報告

総務部長 関谷 重彦

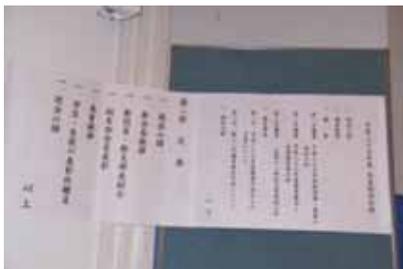
一般社団法人に移行して3回目の定時社員総会が2015年5月31日(日)に新宿校舎3階のアーバンテックホールで開催されました。

午前の総会(第1部)は長嶋前会長の挨拶の後、2015年度新理事・新監事の選任、2014年度事業報告と決算書および定款の一部改訂が承認されました。2015年度事業計画と予算および代議員選出方法の変更が報告され、総会は終了しました。総会の後、同窓会毎に分かれて同窓会報告会兼意見交換会が開催されました。

午後の総会(第2部)では田中新会長の就任挨拶の後、新理事・監事、各同窓会長、新支部長の紹介が行われました。高田理事長、佐藤学長、平方附属中学校・高等学校校長から学園近況報告をして頂きました。優秀学生・生徒表彰の後、中層棟7階の学生食堂で懇親会

が催されました。

翌日の全国支部長会に出席する支部長の皆様も大勢集まり、賑やかな懇親会になりました。



第4回定時社員総会のご案内

第4回定時社員総会は、2016年5月29日(日)に行われます。

- | | | |
|--------|------------|----------------|
| 10:00～ | 受付開始 | (3階アーバンテックホール) |
| 10:30～ | 第4回定時社員総会 | (3階アーバンテックホール) |
| 12:25～ | 各同窓会報告会 | (同窓会ごとに別会場) |
| 14:10～ | 優秀学生・生徒表彰式 | (3階アーバンテックホール) |
| 16:00～ | 懇親会 | (中層棟7階食堂ホール) |

◎定時社員総会の議題案は以下の通りです。

1. 2015年度事業報告と決算の承認
2. 2016年度事業計画と予算の報告

◎社員総会・懇親会には全国から代議員や各支部長をはじめとする、多くの会員も集まりますので、親睦を深めると同時に、各自のネットワークを広げることにお役立てください。

◎全国支部長会が第4回定時社員総会前日の5月28日(土)に予定されています。

新春の集い2016

同窓会組織部長 小澤 和重

「みんなで作る楽しい集い」をテーマに2016年1月10日新宿キャンパスで約500名が集まり、マンドリンクラブのオープニング演奏で開演しました。同窓会組織部小澤部長による力強い開会宣言、お馴染みのグリークラブと樹輪の会による校歌・学園歌斉唱、世界大会準優勝のソーラーカーを背景に集合写真撮影へと進みました。続いて来賓の紹介、校友会会長挨拶、理事長祝辞、鏡開きとなり、待望の乾杯が佐藤学長のご発声で行われ、歓談に入りました。歓談中、今回初企画の理事長、学長、校友会長による会場巡回名刺交換が行われ、好評を得ました。イベントは、樹輪の会の素晴らしい民謡の披露に始まり、クルーザクラス準優勝のソーラーカーチームによる未来に向かっての力強い凱旋報告があり、続いて、化学工学科の卒業生が4人メンバーの一人となっている“Future Ring”による華やかな歌と踊りのショーがあり、楽しいイベントで会場が和やかなムードに包まれました。次に本学が国際

化を目指していることに合わせて、今回から留学生も招待する企画を入れました。サウジアラビアとナミビアからの留学生紹介が総合司会の平山氏から行われ、サウジアラビアの留学生は太陽光発電の研究を、ナミビアの留学生は佐藤学長のもとで化学系の研究をしていると話していました。イベントのトリは、恒例のお楽しみ抽選会です。番号券が入っている約500の風船が太田副部長のカウントでアトリウムの上空に張ったネットから会場に舞いおりました。今回は、昨年度に比べて多くの景品が校友会および企業、個人から寄せられ、参加者全員に景品が行き渡り喜ばれました。中締めの方歳三唱の後、各同窓会の記念写真撮影を行い、ご参加頂いた皆様のご協力により大盛況の内に終演となりました。最後にこの集いの趣旨にご賛同頂き、景品を提供して頂いた校友各企業、各同窓会、個人の皆様に心より御礼申し上げます。

(文責 釜谷 美則)

お願い：新春の集い2017を更に充実した行事にするために、校友及び校友企業からのご寄付や抽選会用景品のご提供をお願いしております。ご連絡は事務局までお願いいたします。



2015年度 第3回 全国支部長会報告

支部組織部長 上野 耕平

1. 開催日時：2015年6月1日(月) 10:00～15:00
2. 場 所：新宿校舎28F会議室(第1・第2)
3. 参 加 者：全国42支部・出席38名、委任状2名、
欠席2名
理事、監事、支部組織部:21名
出席者計59名
4. 議 長：上野 耕平(支部組織部長)
副 議 長：渡辺 征三(支部組織部副部長)
書 記：阿部 信夫(支部組織部員)
5. テ ー マ：1. 支部活動支援金増額の有効活用について
2. 所属支部選択制度導入について

一般社団法人移行後3回目となる「全国支部長会」は司会者白井精滋氏(支部組織部)の開会の辞で始まりました。

前日の社員総会で会長に就任した田中英生校友会会長からは、「校友会の活性化は支部の皆様の知恵を拝借することが最善。そのためには近隣の支部による、合同のイベント拡大や校友会HPを利用し、横断的にPRすることで動員が図られる。また、行事に行きたくなくなるような4要素、近い、愉快、安い、旨い、を盛り込むことも重要。」との挨拶があり、司会者より新任支部長(10支部)宮城県支部長杉山征太郎氏、栃木県支部長鈴木誠治氏、東京支部長大塚正男氏、横浜支部長佐藤英雄氏、湘南支部長岡崎明男氏、大阪支部長阿久津健三氏、奈良県支部長澤田洋二氏、鳥取県支部長石賀将巳氏、鳥根県支部長中島浩司氏、福岡県支部長高巢光男氏の紹介の後、各新支部長よりご挨拶を頂きました。

次に報告事項(①各支部への校友会小旗2枚の配布、②各支部の移行状況につて、③2014年度各部(本部)活動報告)さらに伝達事項(①父母懇談会への支部参加(上野支部組織部長)②校友会HP活用促進について(澤崎広報部長)③校友会財政状況について(相澤財務部長)④代議員選挙制度変更について(関谷総務部長)⑤学園の近況報告・大学の評価等について(矢ヶ崎学園連携部長)までが午前中に行われ、昼食後の午後からは、北海道支部長稲田光男氏より「第18回全国大会 北海道大会」についての報告後、2つのテーマに関しての質疑が行われました。

テーマ1.「支部活動支援金増額の有効活用について」では、各支部活動のために有効に使われていることが発表され、さらに活発な活動計画を策定するために、来年度より各支部は活動報告について3月末迄の実績を4月末迄に提出する。これにより支部組織部は全国支部長会に支援金額を提示することが決まりました。

テーマ2.「所属支部選択制度」導入については複数の支部から強い要望があり「支部運営規則」の改定を進めることになり、全国支部長会后、9月18日(金)開催の理事会で承認されました。

テーマ質疑の後の「自由討議」では、維持協力費の集め方、会員名簿の管理、会員の高齢化、校友会報記事への掲載など、現在の各支部の抱える課題について話し合いが行われ、最後に参加者全員の記念撮影で、第3回全国支部長会を終えました。



科学教室での校友会の情宣活動と 校友による演示テーマへの参画

学園連携部長 矢ヶ崎 隆義

第22回「わくわくサイエンス祭 科学教室」は、8月22日（土）・23日（日）に演示テーマ数が81、来場者数が9,551人、開催の支援参加者数が1,571名（内、支援参加学生数1,086名）での開催となりました。最近の特徴は、実験指導役などで支援参加した経験を持つ卒業生が来場者として訪れて理・科学実験などを楽しんでいることです。さらに、卒業生が父親や母親となり、子供を連れて演示テーマを楽しんでいる姿がたくさん見られるようになってきました。一昨年及び昨年度の調査では、約300組の親子連れがこれに該当するようです。

校友会ふれあいブースの設置

校友会では、科学教室に多くの校友が子連れや仲間同士にて来場していることから、開催期間中に活動に関わる情宣を展開することを目的にその方策を検討、多くの校友の協力を得て「校友会ふれあいブース」の設置が実現しました。ブースには、学園連携部の部員5人が順次常駐して、校友会の活動を紹介するパネルの展示・説明や資料の展示・配布（各同窓会の資料を含む）しました。科学教室総合受付やブースの入り口通路部付近に案内を出すと共に呼び込みを行った結果、会期中に87名の卒業生の校友会ブースへの来場者を得て校友会の存在をアピールすることができ、開設の効果を再確認しました。科学教室終了後、開催担当元である科学教育センターのヒアリング調査により、「校友会ふれあいブース」について卒業生が待ち合わせ場所として利用していたことや、多くの学生諸君及び教職員がその存在に気づき何らかの関心を示していたことが明らかとなりました。

支部及び校友による演示テーマへの参画

科学教室での演示テーマに二つの校友会グループが参画しました。「飾り炭を作るう」（責任者：若



松昭秀氏、共同担当者：小林保男氏【校友会西東京支部】と「君は“スーパー竹とんぼ”に勝てるか!」（責任者：石田英雄氏【校友会愛知県支部】）です。

前者は、西東京支部の校友

を中心に相模・東京・川崎支部の校友も加わり、木の実や枯れ草などを子供たちと共に空気を絶った状態で蒸し焼きにする実験を経て、燃焼などについて学びつつ炭にしたものをコレクションケースに収めて机上のアクセサリとするものです。多くの子供たちが学びつつ楽しみました。

後者は、子供たちに昔の遊びを知ってもらうと同時に竹とんぼがなぜ飛ぶのかを考える演示でした。表題にある“スーパー竹とんぼ”とは、羽根の両端に錘を貼り付け、カーボン軸を利用したハイパーとんぼのことであり、会場となった付近ではとんぼを飛ばす子供の歓声が響くと共に自由研究テーマ（羽根の形状、ひねり角度、重さ）に思いをはせる姿が印象的でした。



続々誕生! 新施設 ふらっと&B-ICHI&新4号館

“ものづくり”の新拠点、[ふらっと/19号館]が、八王子キャンパスに竣工しました。この建物は、1号館跡地に建てられた、斜面を活かした少し変わった構造で、キャンパス東西を結ぶメインストリートが建物屋上を走っています。新しい“ものづくり”の拠点として、実習工場・TECCなどの機能を移転し、将来的には“ものづくり”のすべてがここに集約されます。

また、新宿キャンパスにはラーニングcommonsとなるB-ICHI(ビーチ)がリニューアルオープン。様々な新しい施設が誕生しています。

さらに、先進工学部の校舎として、2016年3月15日に新4号館が竣工しました。地上8階建ての建物には、先進的な発想力と科学技術を身につけるための学びをサポートする居室(講義室、機械工作室、応用物理実験室、化学実験室)を設けています。

4階から体育館方面へブリッジを設け、車椅子でのキャンパス内移動が可能となりました。



ふらっと



B-ICHI



新4号館外観



アームダクト方式を採用した実験室(新4号館)

ジャパン・レジリエンス・アワード(強靱化大賞) 2015-最優秀賞を獲得

この賞は、次世代に向けたレジリエンス(強靱化)社会を構築するために全国各地で展開されている先進的な活動を発掘、評価し、表彰する制度です。第1回目となる本アワードの表彰式(2015年3月15日開催)は、仙台で開催された第3回国連防災世界会議の併催イベントとして行われました。巨大な昼間人口と都市機能が集約する新宿駅前にキャンパスを持つ工学院大学は、地元自治体・事業者等と連携し、地域の防災・減災の拠点として研究・教育・社会貢献活動を行っており、こうした活動が国内外の巨大都市の参考モデルとなっている点が評価されました。



2015年度日本建築学会賞を2名の教員が受賞

国内の建築分野において最も権威のある賞とされる、日本建築学会賞において、建築デザイン学科の木下庸子教授と富永祥子准教授がそれぞれ受賞しました。木下教授はその著書、「いえ 団地 まち—公団住宅設計計画史」で著作賞を、富永准教授は「木の構築 工学院大学弓道場・ボクシング場」で作品賞を評価されての受賞となりました。

「日本建築学会著作賞」は、日本建築学会会員が執筆した建築にかかわる著書で、学術・技術・芸術などの進歩発展、あるいは建築文化の社会への普及啓発に寄与した優れた業績を表彰するものです。「いえ 団地 まち—公団住宅 設計計画史—」(ラトルズ)は、広い読者層に向け、団地の魅力の読み方と集住の空間デザインの理念と技法をわかりやすく体験的に伝えることにせいこうしている点が高く評価されました。



木下庸子教授



いえ 団地 まち



富永祥子准教授

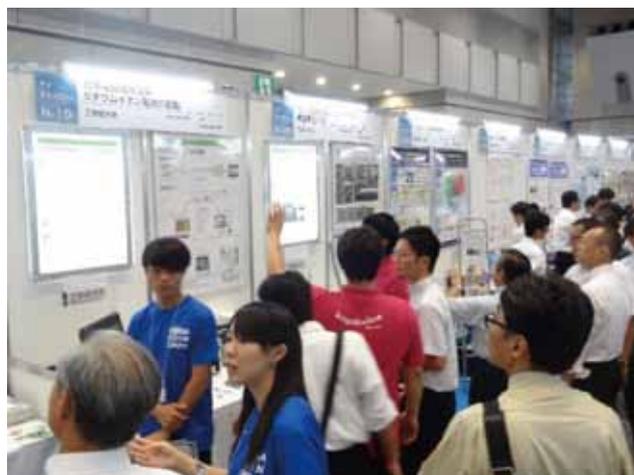
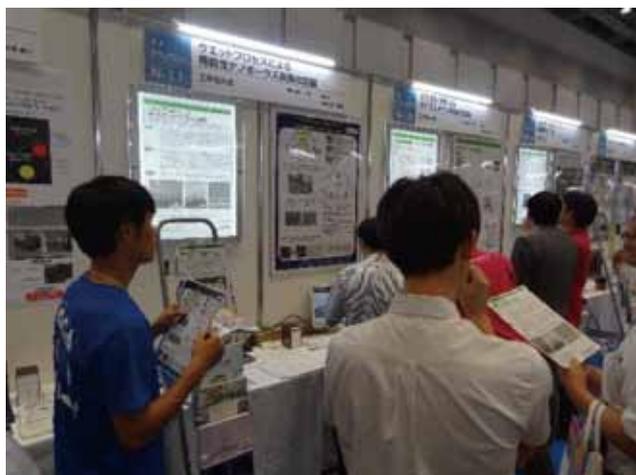
ロボットプロジェクト(KRP)が NHK学生ロボコンに8年連続本戦出場!

今回開催されたNHK学生ロボコンは世界大会となる「ABUアジア・太平洋ロボットコンテスト」の国内代表チーム決定の選考会を兼ねて開催されました。KRPは昨年度優勝校の名古屋工業大学との対戦で敗退しましたが、着実に力を付けていることを感じさせる戦いとなりました。



全国私立理工系大学第1位の出展数 イノベーション・ジャパン2015開催

8/27から東京ビッグサイトで開催される国内最大規模の産学マッチングイベント「イノベーション・ジャパン2015～大学見本市&ビジネスマッチング」。本学からは関東私大で最大となる7つの出展が決まりました。大学の「第三の使命」として産学連携を位置づけ、研究活性化を推進し社会貢献を目指してきた成果が認められました。出展者は阿相 英孝(応用化学科 准教授)、佐藤 光史、坂本 哲夫(応用物理学科 教授)、前田 幹夫(電気システム工学科 教授)、後藤 治(建築デザイン学科 教授)、馬場 則男(コンピュータ科学科 教授)、相川 慎也(総合研究所助教)となります。



「ハイブリッド留学」が 文部科学省 「2015年度大学教育再生加速プログラム(AP)」に採択 本学が独自に開発した日本初の留学プログラム

「ハイブリッド留学」が、文部科学省の「2015年度 大学教育再生加速プログラム(AP)」テーマⅣ「長期学外学修プログラム」に採択されました。ハイブリッド留学は「まずは語学の修得から」というこれまでの留学スタイルから脱却し、留学のハードルを下げ「まず海を渡る」ことを最優先させた日本初の留学プログラムです。2013年から始まり、これまでの取り組みが評価され採択となりました。



工学院大学×西東京バス「にしちゅんバス」の デザイン決定!

西東京バスとの産学連携プロジェクトとして同社のマスコットキャラ「にしちゅん」をモチーフとしたラッピングバスのデザインを学生から募集し、各賞が決定しました。最優秀賞のデザインによるラッピングバスが今後、西東京バスの路線にて運行予定です。

・最優秀賞

『にしちゅんと巡ろう!西東京バス沿線の旅!』

笹 悠人さん(まちづくり学科4年)

櫻庭 将さん(建築デザイン学科4年)

・優秀賞

『豊かな自然と都市』

角濱 文隆さん(電気システム工学科2年)

『にしちゅんといっしょ』

加藤 明日佳さん(建築デザイン学科3年)

小田 桐知世さん(建築デザイン学科3年)



2015年度も諏訪市大学出張科学教室を開催

10/18、諏訪中学校（長野県諏訪市）を会場に、通算6度目の開催となる「出張科学教室」を開催しました。地域の科学イベントとして根付いた科学教室には、約300名の運



営スタッフが参加。全21の演示テーマを用意し、会場は来場者で賑わいました。11月中旬には、海外協定校のある中国・蘇州市で海外出張科学教室を開催します。



11月7日 第14回ホームカミングデー開催

180名を超える卒業生にご参加いただき、旧交を温めました。初開催となった地酒BARでは、校友会の全国の支部が推薦する各地の銘酒を集め、大盛況のうちに終了。その他、歓



迎式典や各研究室の紹介が行われ、懐かしい恩師や学友との再会で盛り上がり、終始和やかな雰囲気にも包まれ賑わいました。



11月21日 中国・蘇州で「出張科学教室」を開催

蘇州市内の中高生ら総数約600名が参加。また、会場である蘇州市第三中学校（※日本の高校に相当）日本語を学ぶ高校生16名も演示支援者として参加しました。参加した現地の女子生徒は「実験の経験がなく教えるのが不安だったけど、回数を重ねるうちに教えられるようになって楽しかった!」と、日本語でにこやかに答えてくれました。

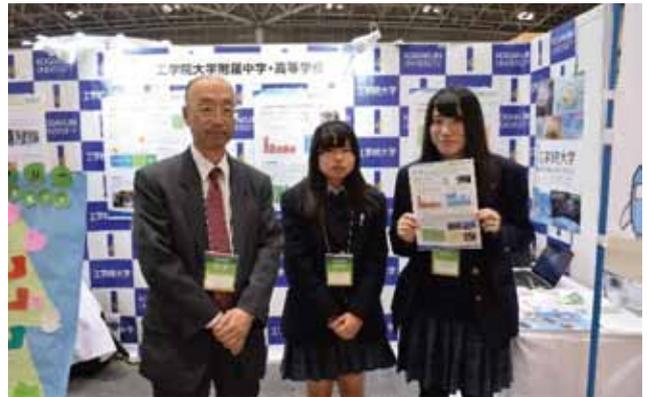


「エコプロダクツ2015」に7年連続出展

12/10～12に東京ビックサイトを会場に開催された日本最大級の環境展示会「エコプロダクツ2015」。学園からは、環境ISO学生委員会、環境マネジメント工学研究室、ソーラーカープロジェクト、みつばちプロジェクト、附属中学・高校が取り組む環境活動などを紹介するブースを出展。今年は、国際的なソーラーカーレース「ブリヂストン・ワールド・ソーラー・チャレンジ2015」クルーザークラスで準優勝を収めた3



号機[OWL]がサポート企業の一つ、ブリヂストンのブースに初登場。開幕初日にソーラーカープロジェクトメンバーらが特設ステージでトークショーを行い、また、最終日にはNPO・大学ラウンジでも世界大会参戦の様子を講演しました。出展するブースで、学生や生徒たちが、来場者に一生懸命説明を行う姿が印象的でした。



八王子市と包括連携協定を締結

大学の教育・研究の充実を図り、地域社会の発展に寄与することを目的として、12/10八王子市と包括連携に関する協定の締結式を行いました。八王子市、工学院大学ともに、大学単体、単独の市町村と包括協定を結ぶのは初めての取り組みとなり、より一層の関係強化を目指します。



附属中高の高橋教諭がグローバル・ティーチャー賞トップ10選出!

工学院大学附属中学校・高等学校の高橋一也教諭が、教育界のノーベル賞と称される「Global Teacher Prize (グローバル・ティーチャー賞)」のトップ10にノミネートされました。惜しくもグランプリ受賞は逃したものの、日本人初のトップ10選出という快挙を成し遂げ、日本の教育を世界に大きくアピールしました。

高橋教諭の日々の授業では、思考力の向上を目的にレゴブロックを活用したり、タブレットを用いたICT教育の実践、また、宇宙エレベーターコンテストへの参加や時事問題(シリア難民・平和・言語など)を英語でディベートするなど、常に新しい教育に取り組んでいます。さらに、生徒たちとインドネシアを訪問し、現地の社会起業家とごみ問題解決のプロジェクトに参加するなど、グローバル人材の育成に励んでいます。



高橋一也先生

機械系同窓会活動紹介



新春の集い2016に出席の田中英生機械系同窓会会長



会長挨拶／機械系同窓会長 田中英生

昨年からの先進工学部のスタート、ソーラーカーの世界大会での活躍、学生フォーミュラの躍進、機械系OBも協力している地元密着型イベントの科学教室の高評価など、機械系学生の活躍が学園の施策と共に学園のブランドイメージの押し上げに大変役に立っていると言う実感があり、誇らしくなります。

同時に、八王子で進む校舎の増改築などによる教育研究環境の飛躍的な充実などは我々機械系卒業生にとっても自慢です。

今年も機械系同窓会一同、頑張っていきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願い致します。

1. 機械系同窓会の活動内容

年間の事業計画は同窓会会則に則り、定期的に開催される役員会で決定し、各担当委員会が実行します。

その主な内容は次の通りです。

- ①会報の刊行および会員名簿の管理
- ②会員相互の親睦
- ③学園との連携
- ④研究会・講演会・講習会の開催
- ⑤その他の業務

2. 機械系同窓会事業の具体例

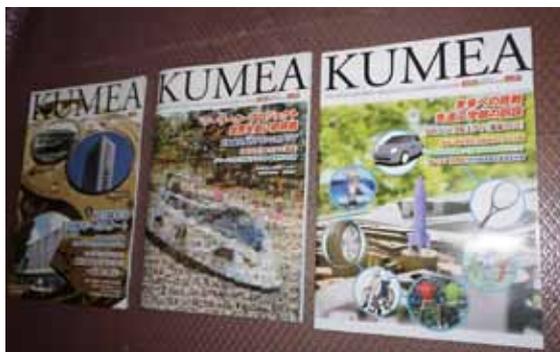
2.1 会報の刊行及びホームページの管理

機械系同窓会の会誌部会で年間約10回の会議を開催し、KUMEA (Kogakuin University Mechanical Engineers Alumni) を刊行しています。

今年度の第38号発行部数は14,500部で、OB/OGへの送付と卒業生に記念としてお渡しできるようにしています。

最近の編集方針としては読者の年齢層も考慮し重要な記録として残したい内容は会報で、タイムリーな情報を素早く伝達する場合はホームページでとの考えで進めています。なお、若手の大学院生にも参加していただき斬新なアイデアを採用すると同時にビジュアル化などを進めています。

若手が多く見ているという機械系同窓会のホームページは毎月改定し新鮮味を失わないように気を配っていますので是非ご覧ください。



機械系同窓会 会誌 KUMEA35,36,37号

2.2 会員相互の親睦

2.2.1 報告会兼意見交換会の開催

校友会の社員総会の合間に行いますので少し忙しい会議です。これは機械系同窓会として実施しなければならない会議ですが、機械系同窓会のお集まりいただいたOB/OGに活動内容を説明する大事な会議となっていて、出席者からいろいろ質問があり有意義な会議となっています。

2.2.2 活躍するOBの報告会

これは2006年より会員の発案で始めたもので、現在各界で活躍しているOBに仕事の内容を発表してもらうことを目的としています。

とてもユニークな発表が多く、私たちの仲間がこんなところで頑張っていたのか、こんな趣味や仕事やボランティアをしていたのかと驚きの連続です。

当然発表後は講師と一緒に懇親会となります。

最近の発表は、第10回は2015年講演題目は落語「井戸の茶碗」で断家「めずらし家芝楽師匠」1973年機械工学科卒落語研究会OBの荒井敬三氏。

第9回は2014年講演題目「温泉と最近の温泉問題」大山正雄文学博士：1970年流体研修士課程卒といった具合です。



めずらし家 芝楽師匠の熱演



最初は芝楽師匠の苦勞話を真面目に聞いている聴衆

2.2.3 機械系同窓会秋の集い

毎年開催している機械系同窓会「秋の集い」は、学生プロジェクトの活動報告と工学院大学の機械系の先生の研究発表をお願いしております。目的とするところは学生プロジェクトを同窓会のメンバーにより身近に感じてもらうことと学生への激励、それと大学の先生方の研究成果をより広くOB/OGに認識していただくことにあります。

学生プロジェクトでは、毎年“鳥人間”、“フォーミュラカー”、“ロボットプロジェクト”、“ソーラーカー”の熱意ある発表があります。



記念講演の武沢英樹教授



学生プロジェクト「KRPロボコン」の発表

先生方の成果発表では、昨年は武沢英樹先生の、「最近の放電加工技術と精密微細加工の現状」、小林潤先生の「リサイクルとエネルギー」など素晴らしい成果を判り易く説明して頂いております。もちろんその後は学生及び先生と交歓・懇親会が開催されます。



オーストラリアの世界大会で準優勝した工学院大学ソーラーカー（濱根先生提供）

2.3 学園との連携

学園への支援については、“ホームカミングデー”への参加、学位授与式に機械系学生に対する卒業記念品を贈呈し、さらに畠山賞受賞者への副賞の贈呈や三浦賞受賞者への副賞贈呈など行っております。また世界大会で好成绩を挙げている「ソーラーカー大会参加への補助」なども行っております。

2.4 校友会行事への参加

恒例の“新春の集い”、一昨年開催された“校友会全国大会・埼玉大会”には組織を挙げて参加を呼びかけました。

その他、校友会学術講演会への参加なども大事な責務として実施しております。



機械系同窓会「秋の集い2015」の武沢先生を囲み記念スナップ



懇親会には発表の学生も楽しく参加

化学系同窓会活動紹介



会長挨拶／化学系同窓会長 志村 豊

本学の化学系学科の歴史は古く、工手学校として創立された1887年に製造化学科と冶金科が設置され、1949年に新制大学として開設された工学院大学では工学部工業化学科が設置されました。そして、2015年に先進工学部が開設され、化学系学科は生命化学科、応用化学科、環境化学科の3学科に再編されました。

学園創立から今日まで、化学系学科を卒業された諸先輩方が、あらゆる分野で御活躍されていることを誇りに思うと同時に、若い卒業生には、益々の御健闘を期待しております。

化学系学科の名称は時代と共に変わりましたが、化学というキーワードは同じです。

化学系同窓会は、全ての化学系学科の卒業生を会員とする集まりです。そして、若い多くの会員の皆様に同窓会運営に参画してもらえることを願っております。

化学系同窓会では、化学系研究室の諸先生方の御協力を得まして、「化学の夕べ」を開催しております。

「化学の夕べ」では、諸先生方による研究室の紹介、学生諸君の研究発表の場として、或いは、卒業生による学生諸君への講演などを行っております。

昨年度（2015年）は、

- ・4月11日：環境化学科 岡田文雄教授
「オゾン水の生成と応用」
- ・5月9日：生命化学科 阿部克也准教授
「光合成微生物のバイオリファイナリーへの展開」
- ・6月13日：応用化学科 奥村和教授
「固体触媒による化学原料や燃料の製造と環境汚染の防止」
- ・7月11日：環境化学科 中尾真一教授
「カーボンフリー水素エネルギーシステムの構築と膜反応器の役割」
- ・9月12日：生命化学科 松野研司教授
「先進工学部における医薬化学研究について」
- ・10月10日：学生プロジェクト みつばちプロジェクト
「みつばちプロジェクトの活動と養蜂の紹介」
- ・11月14日：環境化学科 酒井裕司准教授
「乾燥地及び沿岸生態系における環境問題解決への実践的アプローチ」
- ・12月12日：応用化学科 大倉利典教授
「環境・エネルギーとセラミックス」

以上合計8回の「化学の夕べ」を開催し、化学系研究室の諸先生方と学生諸君に御講演して頂きました。

遡って、一昨年度（2014年）は、

- ・4月12日：同窓会事業部長 古川和弥氏
「最近の応用化学科卒業生の日常」
- ・5月10日：同窓会長 志村豊氏
「中東のプロジェクト情勢と日本のバーゲニングパワー」

- ・6月14日：応用化学科卒 大家溪氏
「再生医療と生体材料」

- ・7月12日：同窓会総務部長 小野寺康氏

「化学系企業に就職しなかった化学系卒業生の日常」

- ・9月13日：環境エネルギー化学科 木村雄二教授
「化学コンビナートの安全・安心を実現するための科学と技術」

- ・10月11日：応用化学科 小野幸子教授
「無機表面化学研究室のあゆみと研究活動報告」

- ・11月8日：応用化学科 山田昌治教授
「工学系大学での食品化学工学研究の意義について」

- ・12月13日：環境エネルギー化学科 高羽洋充教授
「コンピューター化学による環境エネルギー研究と学生による最新研究報告」

を開催しました。

「化学の夕べ」は、毎月第2土曜日の夕方約2時間、新宿キャンパスに於いて開催しております。（8月、1月、2月を除く）

17時30分開演で、前半の約1時間は演者の先生方に準備して頂いたパワーポイントや説明資料を教科書として、アカデミックな講演を拝聴します。

そして、後半の18時30分からの約1時間は懇親会の場として、同窓会員の皆様、教員の先生方、学生諸君との、当日の御講演に関する質疑応答、忌憚のない意見交換、親睦、懇親を図る様に努めております。

「化学の夕べ」では、同窓会員の皆様の、当日の飛び入り参加を歓迎します。

「化学の夕べ」が、卒業生の皆様と教員の先生方、そして、学生諸君が集い語らう場として、今後、より一層活用される様にと願っております。

「化学のタベ」風景



電気系同窓会と進会員をつなぐ新たな取り組み 電気系同窓会活動紹介



会長挨拶／電気系同窓会長 小澤 和重

電気系同窓会長の1949年電気工学科卒小澤和重です。当同窓会は電気システム工学科、情報通信工学科、コンピュータ科学科、情報デザイン学科の同窓生で構成され、同窓生数は2015年1月末現在約13,300名で、各分野で活躍しています。毎年、学部約250名、大学院約30名の卒業生が同窓生として社会に出ています。さらに3年後には応用物理学科、4年後にはシステム数理工学科が加わります。主な活動は、各分野で活躍している同窓生の紹介や学園の近況などを伝える同窓会誌「隆星」の発行、色々な施設の見学や実体験をする日帰りバスツアーなどです。また、学生支援活動として資格取得支援やインターンシップ報告表彰を2015年度から実施しています。今後も同窓生及び学生(準会員)のための活動を継続していきます。

校友会は、会員相互の親睦と連携ならびに学園の発展を願って支援を行うことを目的とした団体です。その下部組織である電気系同窓会では、若い卒業生の連携をさらに強化するため、在学生への新たな支援を開始しました。既に校友会では、優秀学生の表彰、優秀活動の顕彰をはじめとする多くの援助を行っていますので、電気系同窓会ではこれらとは異なる



視点から「資格取得報奨制度」、「インターンシップ発表会表彰制度」を実施しましたのでご紹介いたします。

資格取得報奨制度

資格取得報奨制度は、情報学部、工学部電気系(電気システム工学科、情報通信工学科)、先進工学部(応用物理学科)の学生が在学中に電気系同窓会で認定した資格試験に合格した場合その受験料を報奨金として授与する制度、また技能試験が設定されている場合は技能講習を開講し支援する制度になります。対象となる資格試験は、学科の専門性に基づいており社会的に認知され、自身のキャリアアップに有効なものとして選別しましたが、取得状況や社会情勢により見直しをすることで暫定的に進めております。

昨年12月までの合格実績は、エネルギー管理士1名、第二種電気工事士4名、情報セキュリティスペシャ

リスト1名、応用情報技術者試験2名、基本情報技術者試験18名になります。報奨金の授与式は、役員会(2015年7月21日・8月6日・9月30日)で順次行い、電気系同窓会からの支援ということを認識してもらおうとともに、なるべく早く報奨金を授与し次の資格試験へチャレンジしてもらおうとも考慮しました。一方、これらの資格試験の中には、電気工事士試験のように、学科試験と技能試験を課しているものがあります。学部生が技能試験の練習をする場合、工具と部品を購入し個人で練習するか、外部で有料の講習を受講することになります。幸いにも本学の卒業生にはこの分野のエキスパートがいらっしやり、快く講師を引き受けていただきました。講習は上期(2015年7月18日・19日)5名、下期(2015年11月21日・22日)5名、それぞれ2日間を使い電線の剥離から、各種電気器具の取り扱いまでを行い、上期の受講生の合格率は80%でした。(写真参照)

ご承知のように、産業界では社員の保有資格の数が会社の受注力や競争力に反映されるようになってきており、入社直後から受験指導をする会社もあります。この制度により、今まで以上に多くの学生が資格取得へチャレンジし、何かしらの資格を持って卒業し自身の将来に役立てくださることを願っております。

インターンシップ発表会表彰制度

大学では、就業体験を通して高い職業意識を醸成することを目的に、2000年よりインターンシップを「学外研修」として正規の授業科目に組み入れています。この成果発表の場として、インターンシップ成果報告会(2015年11月18日)が開催され、2015年度は175の企業・行政機関等で過去最高の311名の学生が学外研修に参加しました。優秀な発表に対しては、2015年12月24日に17名の学生に学長から表彰が授与されました。電気系同窓会では、これらの賞とは別に、企業に所属する電気系同窓会会員に出席をお願いし、企業人の視点から優秀な発表を行った学生を表彰するインターン

シップ発表会表彰制度を設けました。会場には、多くのインターンシップ受け入れ企業の方が出席しており、その方々と同じ企業人という目線から2名の審査員が工学部電気系(電気システム工学科17名、情報通信工学科29名)、情報学部(コンピュータ学科24名、情報デザイン学科14名)の発表を審査し、採点表に基づいた厳正な評価により優秀賞該当者を各学科から4名選出しました。審査にあたった役員からは、「短い時間の発表ではあるがどれも素晴らしい発表で甲乙つけ難かった」との感想を頂きました。表彰式は2016年1月10日に行われ、受賞学生には新春の集いにも出席して頂きました。最後に、今回の電気系同窓会の施策に対しまして、ご理解を頂きました大学関係者の皆様に感謝申し上げます。

電気系同窓会では、これらの支援を通して本学在学生のモチベーション向上につなげるとともに、電気系同窓会と在学生の絆を強固にして校友会の基盤づくりに貢献したいと考えています。



建築系同窓会活動紹介



会長挨拶／建築系同窓会長 鈴木 敏彦

2010年より工学院大学の教授に就任し、母校のため同窓会活動に参画して参りました。2015年度より建築学部同窓会長および同窓会誌NICHEの編集長を引き継ぎ、広報活動全般の仕事に携わっています。

折しも10月にみなさまに愛されてきた工学院大学八王子図書館が解体されました。建築学部同窓会では故武藤章先生が設計された図書館の保存を強く訴えてきましたが、様々な理由によって解体を阻止できない現実を直視し、改めて建築の記録と保存の方法を模索する中で『建築を保存する本』の発行を決意しました。2015年12月15日よりアマゾンや全国大型書店で販売しています。

今後とも教学と同窓会活動を両立し、最善を尽くす所存でおります。どうぞよろしくお願いいたします。

建築系同窓会は、1967年に発足し、翌年に同窓会誌『NICHE 龕 vol.1』を創刊しました。1993年からタイトルを『NICHE』に刷新し、1998年からオールカラーの誌面となりました。今年で48年、途中何回かの休刊もありながら『NICHE vol.39』の発刊に至ったことはまことに喜ばしい限りです。

2012年にNICHE出版会を立ち上げ、出版物を書籍として社会に流通させる仕組みを作りました。同年、NICHEに類州環氏が13年間連載した「輝かしき先輩達」を軸に、藤森照信先生と茅原健氏の寄稿文を合わせて『工手学校—日本の近代建築を支えた建築家の系譜—工学院大学』を出版しました。工手学校の研究はNICHE出版会の使命であることを再確認する契機となりました。

2014年には谷口宗彦先生の退官を記念して『谷口宗彦最終講義 工学院大学に在籍した49年間の全てを語る』を出版しました。また、「大学の知的資源やネットワークを生かして社会に貢献する」という理念を掲げ、『NICHE』を2冊に分けました。毎年3月に同窓会から無償配布するダイジェスト版と、建築に関する情報に特化したムック版『NICHE mook 01』の両輪体制で編集しています。前者では同窓生の仕事ぶりや、海外渡航奨励金制度を用いて海外を巡った在学生のレポートを載せ、後者では毎回異なる国を選び、現地取材を通してその国の建築と歴史を掘り下げます。この特集ページではテーマ国の読者を念頭に置き、全文を日本語とテーマ国の言語とのバイリンガルで表記しています。

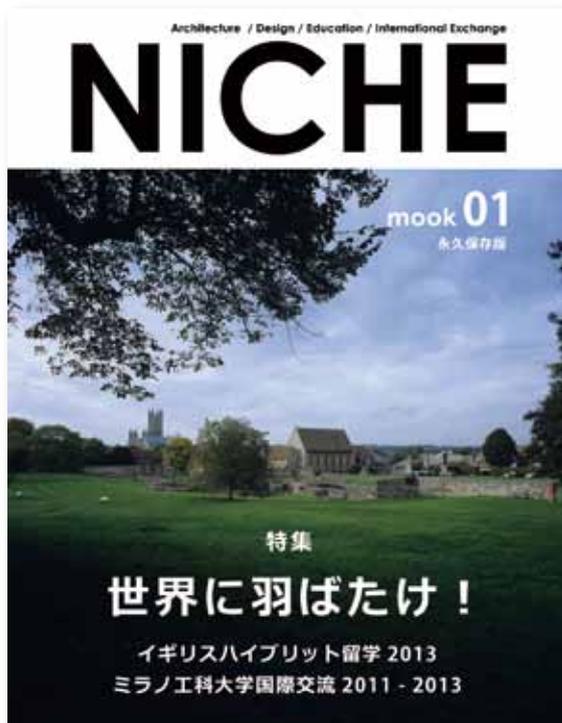


●『工手学校—日本の近代建築を支えた建築家の系譜—工学院大学』

谷口宗彦
最終講義
工学院大学に在籍した
49年間の全てを語る



●『谷口宗彦最終講義 工学院大学に在籍した49年間の全てを語る』



●『NICHE mook 01』 特集：世界にはばたけ！

2015年に発行した『NICHE mook 02』では「台湾建築探訪」と題し、台湾で活躍した工手学校の卒業生の足跡を特集しました。中国語の表記が好評で、台湾の紀伊國屋書店4店舗でも販売されました。台北大学の蔡龍保先生との連携も13年目を迎えます。同窓会に「台湾工手学校研究会」を立ち上げ、引き続き工手学校にまつわる情報を収集していきます。

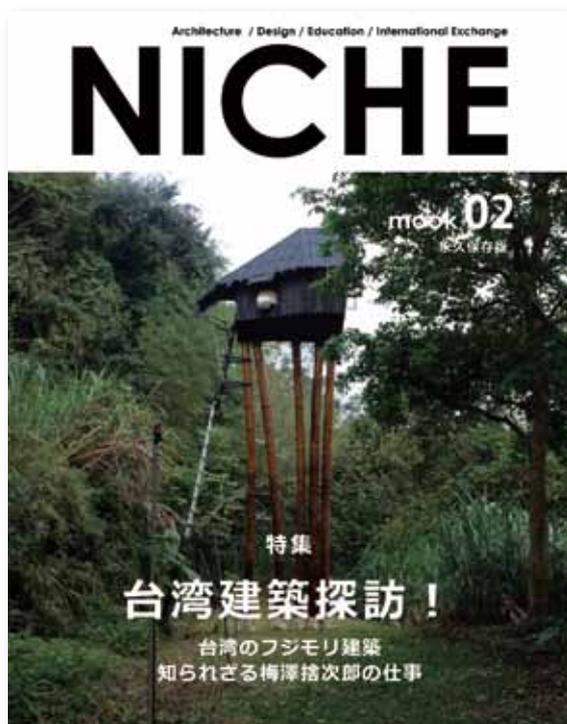
2015年の大きなニュースに、惜しまれつつ阻止できなかった八王子図書館の解体があります。フィンランドでアールトに建築を学び、図書館を設計した武藤先生の記憶を後世に受け継ぐため、NICHE出版会では『建築を保存する本 01 工学院大学八王子図書館／武藤章』を発刊しました。丸善出版との契約により全国大型書店での発売を開始したところ、消えゆく建築をアーカイブする手法として高い評価を受けています。

世界は目まぐるしく動いていますが、建築とデザインと教育事情には常に通底するものがあります。それは海外に対する飽くなき好奇心と、見聞きしたものを日本に還元しようとする力です。本学を創設した渡邊洪基氏はイタリアで働き、東京駅を造った辰野金吾氏はイギリスに学んだ時期がありました。そして本学アトリウム胸像として渡邊洪基氏の横に並ぶ古市公威氏は、1875年に文部省初のフランス留学生としてパリに学びました。やがて古市氏はその成果を日本に持ち帰り、1987年に工手学校の設立メンバーとなります。『NICHE mook 03』ではフランスを取材し、古市氏の向学心に迫りました。

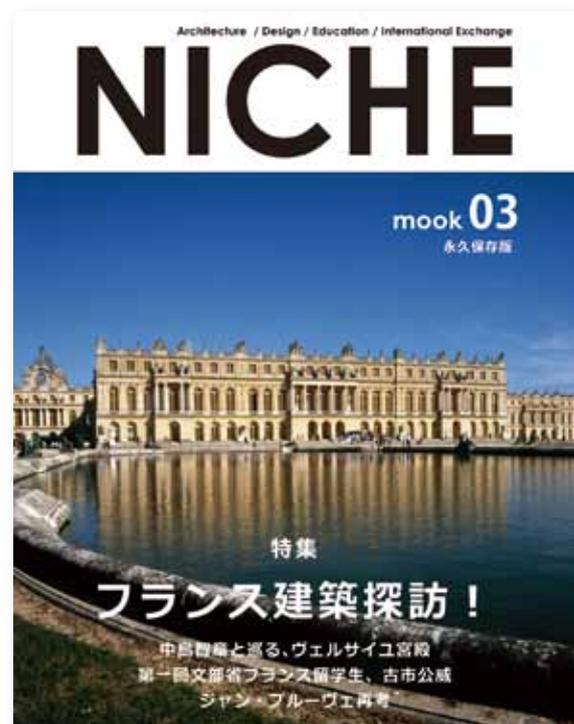
大学という学び舎は知的資源の宝庫です。そして言語と国境を越えた人的ネットワークこそ、未来への力を育むといえるでしょう。NICHE出版会は、大学で切磋琢磨した仲間たちと手を携え、共に新しい未来を切り拓くネットワークづくりを考えています。



●「建築を保存する本01 工学院大学八王子図書館／武藤章」



●「NICHE mook 02」 特集：台湾建築探訪!



●「NICHE mook 03」 特集：フランス建築探訪!

女子会企画「K-Joshikai」：高校生の頃の自分と重ね合わせてみる
高校同窓会活動紹介

文・写真 / 荒井翔平：2009年普通科卒業



Misaki Shirasu 白須 美彩希 2014年普通科卒業 東京エアトラベル・ホテル専門学校 エアライン科
Ayumi Nagasawa 長沢 歩実 2014年普通科卒業 杏林大学 保健学部 看護学科
Yukina Aoki 青木 佑生菜 2014年普通科卒業 中央大学 経済学部 国際経済学科
Kurumi Ishikawa 石川 くるみ 2013年普通科卒業 桜美林大学 健康福祉学群 健康科学専修
Ayano Teramoto 寺本 彩乃 2011年普通科卒業 工学院大学大学院 工学研究科 建築学専攻修士課程
Mizuki Yamagishi 山岸 瑞生 2014年普通科卒業 工学院大学 工学部 機械工学科



会長挨拶 / 高校同窓会長 太田 正利

最近の附属高等学校同窓会は、10代、20代の若いパワーを借りながら、八王子での懇親会(6月)や文化祭「夢工祭」(9月)でのカフェ企画を行っています。それぞれの企画で、幅広い校友が出会い話に花を咲かせています。今回の企画も若いパワーで作上げた企画です。これ以外の取り組みに関しても、多くの同窓会や校友会の仲間にご助けいただきました。同窓会には30年、校友会には20年お世話になっています。今後とも校友の皆様のお力をお借りしながら、企画を進めてまいりますので、ご協力をよろしくお願いいたします。

今回、高校同窓会特別企画として「K-Joshikai」を開催しました。附属高等学校は、2002年度から男女共学校となり、今年で14年目となりました。2016年3月の時点で、既に12年に渡って女性会員が誕生していることとなります。ただ、校友会・同窓会活動に参加できている女性会員が少ない状況を打破するため、女子会を開催しました。女子会には、高校を卒業した学生6名が集まり、母校での思い出や将来の夢などについて熱く語り尽くしました。

「今は何を学んでいますか」

- 寺本：大学院建築学専攻で構造設計について学んでいます。高校生当時は、天文部で活動していました。
- 石川：保健体育科教員を目指して大学の教職課程に通っています。今は、ゼミの活動で栃木県の小規模小学校の授業を年3回担当させていただきながら、学んでいます。
- 山岸：大学で機械に使われている材料の強度や熱などについて勉強しています。
- 白須：客室乗務員を目指して専門学校に通っています。1月までカナダに留学して現地で勉強してきました。
- 長沢：大学で看護師になるために勉強をしています。
- 青木：高校の時からずっと学んでみたかった、日本の中小企業政策について学んでいます。

「高校時代に楽しかったこと、熱中したこと」

- 寺本：高校時代、短い時間だと思いますが、その中でも楽しかったこと、熱中したことはありますか。
- 寺本：私は、天文部でプラネタリウムを本格的に運営し

たことが一番楽しかったです。一から始める企画はとても面白かった。

石川：私はバドミントン部の活動に一番熱中していました。当時、部長だった私は中学生を含めた約20人を引っ張り続けて大変なこともありましたが、楽しかった印象が強く残っています。

山岸：時間が経つのがとても早かった記憶があります。授業・部活・帰宅・寝るという生活パターンがひたすら続いていました。そんな中でも、部活動とは別に空手をやっていた、高校生時代に段を取って、それが今でも続いています。



全員：それは、すごい!
白須：高校3年の時に、オーストラリアを訪問できたこと。中学生の時にいったホームステイでホストファミリーに再び会えたことが一番楽しかったです。

寺本：海外は行ったことないんだよね。

長沢：毎日一緒にいた同級生との学校生活が一番楽しかった。卒業した今でも同級生とは



よく遊びに行っていますね。吹奏楽部では、高校2年生の時に部長になりました。メンバーも多く大変だったんですが、その分たくさんの経験が得られたのと同時に、社会マナーも身についたと思っています。

青木：文化祭です。自分達で考え出した案をすぐ実現できたり、自分が頑張っていると周りがどんどん手伝ってくれて最高の物ができあがっていく過程が、とても楽しかったです。

「今の自分は高校生の頃思っていた自分になれているか」

寺本：高校生の頃に思っていたもしくは当時考えていた“未来の自分”に、今なれていると思いますか？もしくは違った方向に進んでいますか？



寺本：高校生の頃は建築分野と数学の教員に興味があって、教員免許も取得できる建築学部に進学したけれど、実際に学んでみると建築を専門に頑張りたいと感じました。思い描いていた自分そのままではないけど、本当にやりたいことを見つけて突き詰めることができ、今は満足しています。高校生当時の自分もこのことを応援してくれていると思います。

石川：近づいていると思います。教職課程で学べていること、実際に子供たちの前で授業が出来るのが大きな理由です。体力や技術は体育大学で学んでいる学生の方が勝っていると思います。ただ、今いる環境は自分が高校時代に考えていたものより、恵まれた環境です。



山岸：高校時代は、大学生や就職した自分のことを想像できていなかった。「並大抵な生活」というもので、大学受験に向けて勉強を始めてから、やっと深く考え始めました。そこで“ものづくり”がしたいと思い機械科を進学先に選びました。結果的に、大学生になれている自分、やりたいと思っている方向に進めていると思います。

白須：高校1年の時に決めた専門学校への進学、カナダへの留学、どちらもあくまで願望という程度でした。ただ、ここまでカナダ留学にも行くことが出来ている、確実に夢に向かっていていると感じています。



長沢：当時自分が思ってきたこと以上にいろいろなことに挑戦できています。今は、小児科を希望していて、子供たちと一緒に過ごすボラン

ティアに参加するなど、想像した以上に楽しい大学生活を送れていると思っています。

青木：私は高校時代に思っていた自分とは違った自分です。学生団体に所属して、自分と違った考え方を持つ人たちと活動できていることがとてもうれしいです。

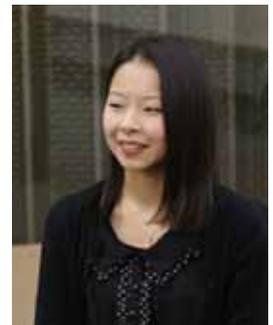
「将来の目標」

寺本：最後に、将来の目標を聞かせてください。

石川：一度でいいので母校で体育の授業を担当したいです。母校は体育の苦手な子が多い印象ですが、その子たちに少しの期間でも上達できることを伝え、みんなが体育を楽しんでいると感じて進んで取り組めるような授業ができる教員になりたいです。

山岸：できれば機械系で就職したいです。つまり、勉強したことを生かして就職したいということです。4年生の教育実習では中学生の時担任だった島田高校教頭の元でものづくりの楽しさを教える手伝いをするのが今の小さな夢です。

白須：客室乗務員になること、親友たちと飛行機で会うという約束をしたので、その夢をかなえられるように努力したいです。



長沢：未熟児や先天性の病気などで集中治療を行うNICU（新生児集中治療室）の看護師になりたいです。精神的にも厳しい現場ですが、母性看護を学んで、赤ちゃんが持っている力はすごいこと、自分が未来のために手助けできることを知りました。そして助産師を取ってさらにプロフェッショナルを目指したいと考えています。

青木：大学に限らず今までの人生で培ってきたものを生かした職業を選択したいです。できれば、日本の中小企業に関する仕事に就きたいです。

寺本：今日はお忙しいところ、本当にありがとうございました！





会長挨拶／専門学校同窓会長 渡辺 征三

阿部前会長の意志を引き継いで若手メンバーを中心に推進して来ました。特に会員同士の親睦を重点に、9月に銚子ポートタワー、ヒゲタ醤油銚子工場の見学および、11月には同窓生の佐藤重利刀匠指導で鍛刀見学、小刀作成さらに包丁研ぎの体験を行いました。校友会役員と西東京支部会員を交え交流が図られたと思います。

新年度は変革された代議員選挙活動を通して、新しい会員発掘を行い、専門学校同窓会ホームページ、校友会ホームページで積極的に新しい企画をお知らせしていきますので、見学場所やどんなことを行ったら良いかなど意見を聞かせて下さい。そして多くの参加をお待ちしております。



飲食後の満足した皆さんです

本州最東端 への 見学会の報告

2015年度活動内容

専門同窓会では、2015年9月19日(土) 見学会を開催いたしました。

■行先：銚子ポートタワー、ヒゲタ醤油銚子工場

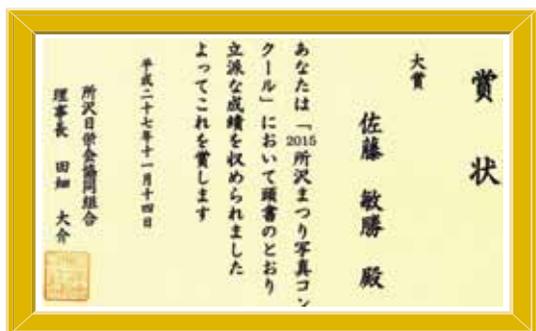
昼食会(懇親会)では、皆さんそれぞれ好きな海鮮料理を堪能しました。

※参加された小野寺さんからの感想です。

先日は、楽しいバスの旅をありがとうございました。仲間と一緒に遊ぶのは、とても楽しくて嬉しい限りです。楽しく飲んで食べて思いっきりおしゃべりをして、「誠実努力」の賜物です。特に幹事の皆様の努力には頭が下がる思いです。心より御礼申し上げます。

小野寺佳子





写真コンテストとの出会い

町のDPE屋さんに入入りしている(2009年)うち、店の主人からコンテストへ出してみないかと勧められたのが始まりです。主催者の求めるものにピタリと焦点が合った時は快感です。今回の「2015所沢まつり」の一枚ですが、女性みこしの躍動感が、地域の活性化を望む町の希望と合致した一枚だったのだと思います。なお、今までコンテストへの入選は64戦32勝32敗の五分です。

「新春の集い2016」でも活躍されます

佐藤さんは、写真以外にも多趣味で焼き物もされています。3点のぐい呑み(写真右下)を2016年1月10日(日)の新春の集いで景品として提供されました。

陶芸との出会い

陶芸との出会いは、ふとしたきっかけです。義父の墓参りの帰りに立ち寄ったカフェは、都内から約1時間30分程の地にある埼玉県は越生町(梅の名所)という所で、もの作りをする人が多いところです。カフェの主人が陶芸の窯を持った人で、何かと話すうち、思いがけず始める事になった陶芸です。意外にはまりました。次々に作る茶碗やお皿、家内からは「置く場所に困るわ」「今にお皿の上に寝るようになるわ」とこぼされながら早8年。さて、どんな仕上がりになったか...窯から出た作品に出逢う楽しさは当分手放せそうにありません。このぐい呑みで「酒でも飲もうか」という気持ちになっていただければ幸いです。

佐藤 敏勝

同窓会顧問 佐藤 敏勝さんが 見事入賞!!



2015 所沢まつり写真コンクール 入賞作品

- 主催 所沢日栄会協同組合
- 共催 所沢商工会議所 野老澤町造陶店
- 後援 所沢市、所沢商店街連合会、所沢市観光協会、ところざわまつり実行委員会
- 協賛 朝フルツ所沢、所沢銀座協同組合、金山町商栄会、朝日信用金庫
所沢プロペラ商店街協同組合、所沢ファルマン通り商店街
朝日ショッパー社、朝日新聞所沢センター、市民新聞
- 協力 西武所沢店、PALETTE PLAZAダイエー所沢店
金山町オナイ写真舞会、オナイ写真小指店



所沢まつり大賞 彩女笑顔

佐藤 敏勝

※本年入賞作品はプリントアウトしたものです



左：織部釉 中：黄瀬戸釉 右：黒天目釉

校友会では、新たなOB・OG会運営規則を整備しつつ、企業支部(含む学園支部)や体育会連合OB会との連携を強化しています。また、新しいOB・OG会作りに努めています。

この度は、連絡の取れているOB・OG会の皆様に、本特集への寄稿をお願いしましたところ、多くのOB・OG会から近況報告が寄せられました。一般社団法人に移行する前に校友会の支部であった体育会連合OB会、三和シャッターOB会、関電工OB会の3団体と、グリークラブOB会、マンドリンクラブOB会、樹輪の会(2部コーラス部OB会)、落研OB会の4団体の計7団体です。各OB・OG会が特徴のある活動を展開しつつ、会員相互の親交を深め、更には母校の在学生との交流を軸に母校の支援を進めておられるなど、実に多くの情報が得られました。ご紹介いたします。

尚、今回、この特集では御紹介出来なかったものの、活発に活動しておられるOB・OG会がまだまだたくさんあることを、またOB・OG会の立ち上げを準備しておられる方々がおられることも確認いたしました。

校友会ではOB・OG会の活動を御紹介すると共に、新たな情報のご提供をお待ちしております。

体育会連合OB会をご存知ですか

体育会連合OB会 会長 渡辺 静雄

工学院大学の体育会は、現在28部、約600名の部員が活動しています。

体育会連合OB会は1990年にOB同士の親睦と共に体育会の活性化の為連携して支援することを目的に結成しました。

現在の活動内容は、まず4月初め、入学式に合わせ、一人でも多くの新入部員勧誘を目的に支援活動。5月末時点での各部の現状調査(部員数の把握・前年実績・今年の活動内容と目標・自部の問題点と大学への改善提案に対するアドバイス・支援)6月には、体育会学生・OB合同活動報告会・演奏会・懇親会を大学、



後援会、校友会の協力のもと開催。2月末、東京マラソン応援ボランティア活動を学生を主体に大学、後援会、校友会有志、連合OB会役員など約100名のボランティア活動の実施。約2,500名のランナーに大学ロゴ入りハンドタオルの配布と新宿キャンパスにて着替え、トイレ利用の便宜を図りランナーの皆さんに声援を送っています。

今後も多くの学生に学業とスポーツを両立させ、文武両

道なる人材を目指してほしい。そして社会で自信を持って活躍できることを願っております。



校友会行事へ積極的に参画する三和シャッター工学院OB会

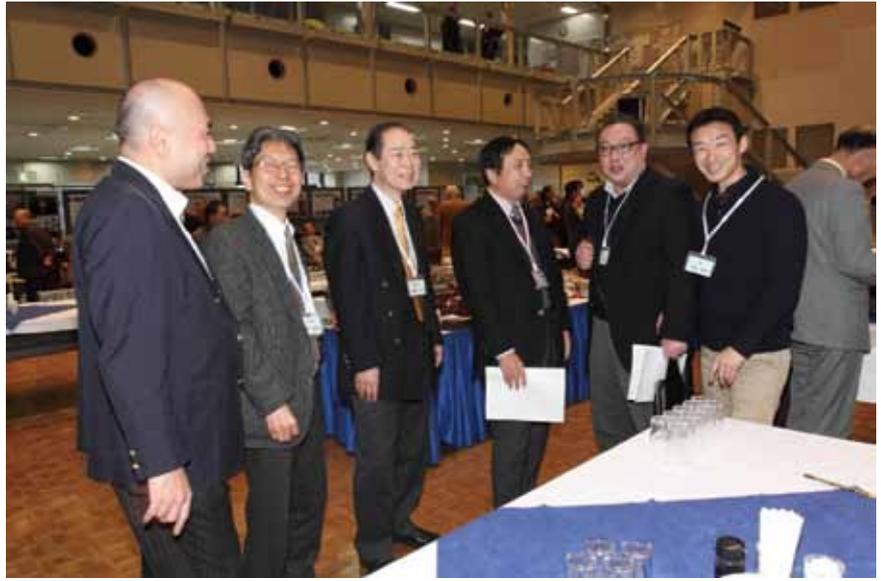
三和シャッター工学院OB会 幹事・会計担当 川瀬 大介

三和シャッター工学院OB会は、2011年11月に校友会の職域支部として理事会の承認を受けて設立されました。三和シャッター工業(株)には、現・体育会連合OB会会長の渡辺静雄氏(電気工学科1963年卒業)を筆頭に、32名のOBが在職しています。同OB会は、校友会の理事(支部組織部長)を務める上野耕平氏(電気工学科1973年卒業)が会長として首都圏地域に勤務する校友と中心的役割を担い、年間活動計画の企画・立案、会員への情報発信等を行い、会の維持・運営を図っています。年度活動計画では、「新春の集い」、「校友会総会」、「ホームカミングデー」への参画が定期的に行われ、ローカルな活動としては、主に「OB会総会」や「東京マラソンボランティア活動への参画」等を行っています。

今年度、新たに卒業生2名が入社し、フレッシュなパワーも加わりましたので、益々、当OB会は盛り上がることでしょう。

また、三和シャッター工業(株)は4月に60

周年を迎え、本誌に広告を掲載しました。在校生の皆さん、是非、三和シャッター工業(株)を就職先候補に加えてみてください。



私達「関電工・工学院大学OB会(角筭会)」です!

関電工OB会(角筭会) 幹事 中山 佳則

関電工OB会(角筭会)は、2006年2月に社内卒業生有志約20名が集まり、OB会を開催し、同窓の結束を図ったのが始まりです。その席上、会の名称を現新宿校舎旧住所地の「淀橋区角筭」から「角筭会」と命名し毎年2回会合を開いています。

会員数は、退職された先輩OBを含め、91名です。年度初めに新入社員歓迎を兼ねてOB会を開催し、会員相互の親睦と年間活動内容の確認を行っています。

1月の「新春の集い」を始め、校友会活動への参加にも力を入れて

おります。創立125周年記念事業では会社を通じて寄付金の協力をさせていただきました。

毎年、工学部、情報学部、建築学部から合わせて5名程度の新入社員を迎えており、大学との連携も継続して図っております。また当代会長の長谷川(電気工学科1971年卒)は校友会代議員を務め、大学と企業間の橋渡しとして活動しております。今後もより多くの後輩達が仲間となる事を期待しています。



2012年 関電工支部OB会



2015年 会合・新入社員歓迎会

現役学生に「校歌」演奏を伝承したい…。グリークラブOB会

グリークラブOB会 会長 山田 伸一

グリークラブOB会の年初めは、校友会主催の「新春の集い」での校歌・学園歌の演奏から始まります。

今年も昨年に引き続き、大学2部で活動していたグリークラブのOB会組織である「樹輪の会」との合同演奏が叶いました。「希望の光さしいでて」から始まり、3番の最後で「その名よ永遠に栄えあれ」で終わる校歌は1958年に制定された校歌ですが、古さを感じさせない斬新さがあります。是非ネット等で一度聴いてみてください。

その他の活動としては、6月の体育会連合OB会総会での校歌演奏、10月の八王子祭、11月の新宿祭での1時間程の時間枠での演奏等で出演の機会を頂き恒例化した行事となっています。

また、昨年は練習成果が一杯に詰まった「第2回ファミリーコンサート」を2年ぶりに開催することができ、充実した1年を過ごすことができました。グリークラブは残念ながら今はOB会だけの活動となっていますが、合唱の面白さ、ハーモニーの素晴らしさを現役の学生に知ってもらうため、演奏会活動の他、学内掲示ポスターやネットを利用した広報活動を進めています。学生によるグリークラブの復活を夢見て。



2016年1月10日 新春の集い参加



2015年7月11日 第2回ファミリーコンサート

現在に繋がる仲間、工学院大学マンドリンクラブ「KMC」OB・OG会

工学院大学マンドリンクラブ「KMC」OB・OG会 幹事 神谷 政行

当OB・OG会は正式には発足から日が浅く5年程です。同期や卒年周辺OB・OGと交流はありましたが、発足当時の古いOB達の熱い支援を得て、一気に広がり今に至りました。

現在OB会名簿総数325名(内、連絡可能者は200名程)、年一回OB・OG総会は約50名の参加で懇談、楽器を持ち寄り合奏等しております。初代OBIは1963年から引継がれ、今も現役が伝統ある工学院大学マンドリンクラブ「KMC」を守り、今年の定演は60回節目の記念演奏会になります。

我々OB・OGも合奏の機運に目覚め、有志で「アンサンブルけむし」を結成、一昨々年は新宿祭に現役に交じり参加、昨年は5回各地の老人ホームに慰問演奏し、一緒に楽しく過ごしました。更に今年の7月2日には川口リリアにて東京家政大学「緑窓」マンドリンOGの方々とジョイントコンサートを開催致します。詳しくはOB会ホームページをご検索下さい。

大学や校友会には一方ならぬお世話を載せております。今後も皆様のご支援、ご指導のもと、楽しく旧交を温めて参ります。



東京都合唱祭に連続38回出場! / OG・OB交流50周年記念パーティ!

工学院大学 男声コーラス部アニュアルリング・エコーOB会「樹輪の会」 幹事 中嶋 重男

2015年7月18日、東京新宿文化ホールで「東京都合唱祭」に38回連続出場を果たしました。岩手県民謡「南部牛追い歌」、秋田県民謡「ドンパン節」。1961年コーラス部を立ち上げた早川 勝が指揮し、同、杉山 征太郎がソロでした。白く薄い頭に「まつり鉢巻」を締め、歌い終わると万来の拍手、「ブラボー!」と声も飛びました。講評の先生から「お年のわりに声が良く出ていた。なにより楽しそう」とコメントを頂き大いに感激しました。打ち上げのビールが美味しかったです。



東京都合唱祭に38回連続出場

2015年10月24日、ファカルティクラブで「OG・OB交流50周年記念パーティ」を開きました。OG26名、OB31名。OGは、1964年から合唱交流をしている立正女子短大女声コーラス部「コールシュベステル」の方々。学生当時の合唱曲や愛称曲をおいしい料理の合間に堪能しました。「太った?」「薄くなったなあ!」や、「孫の話」と「親の介護」「健康」の話題が多かったです。この交流で20組以上が結婚したと判明しました。「元気うちに、また、集まりましょう!」



OG・OB交流50周年記念パーティ

落研OB会創設50周年記念総会を開催!

落語研究会OB会 会長 中尾 茂

工学院大学落研OB会は、2015年11月28日ファカルティクラブに於いて創設50周年の式典を開催しました。OB会員28名の他に校友会の方々の参加もありとても和やかな一日でした。

記念口演では落研OBの新宅哲也氏(1969年卒)の腹話術と工学院大卒の落語家・三遊亭美くさんの落語を楽しみました。懇親会は落研時代の思い出話や歌の合唱で大盛況。全員笑いの中での開催でした。

当落研は毎年OB会を開催していませんが、在京メンバーを中心

に新年会等で落語談議を通じて旧交を温めてきました。昨年の新年会で「OB会も50年位になるね」「何か企画しよう」と声が上がリ、古い資料を調べていくとジャスト50周年・OB会員は114名・昭和40年卒(1965年卒)が一期生、ということが分かりました。

1990年卒のメンバーを最後に落研は廃部で現役はいませんが、OB会は事業として毎年定例落語会を開きます。今年は6月に「第47回・落語こんさと」を深川江戸資料館小劇場にて開催いたします。この機会に懐かしの工大寄席へおいで下さい!





支部活性化!キッカケは2008年全国大会開催決定

埼玉県
西支部

埼玉県西支部長 唐鎌 貞郎

新設イベントは「セミナー懇親会」連続6回! 「川越まつり」開催の毎年10月第三土曜日に合わせて地元ホテルにて実施し、集客は25名から始まり50名までに至り感謝です。

第1回(2010年)

「幕末から工学院への歴史」茅原先生(学園)講演

第2回(2011年)

「自然エネルギーからの復興」工藤(電気系)OB講演

第3回(2012年)

「南極の氷・地球温暖化に警鐘」菊地(化学系)OB講演

第4回(2013年)

「GTRの起源! 敗北からの逆転劇」福田(機械系)OB講演

第5回(2014年)

「川越まつり」(埼玉全国大会二次会)長澤(機械系)OB講演

第6回(2015年)

「旭日双光章受賞記念講演」三村(機械系)OB講演

我が埼玉県西支部は大学の所在地「新宿」と「八王子」間を底辺とする正三角形の北側頂点の位置に、中心地「川越市街」があります。鉄道は新宿・八王子のどちらの駅も川越市街から一本の1時間弱で通学可能な恵まれた立地条件でもあり、現在の埼玉県西支部所属の校友会員は4,300名に至っています。

我が支部の歴史は1970年3月に結成され、今年で46年目に入りました。特に、谷口弘明先輩は結成当時から32年間(2002年6月まで)個人ではがきを発信し、会員名簿を作成する等して会員拡大に尽力されました。

当時、毎年の総会及び懇親会を主に東松山市内の会場にて実施され、当支部会員先輩OBの講話及び交流がなされ、これまでの役員メンバーの基礎を作ったOBでした。

2008年の沖縄全国大会から埼玉が襷を受け取り、この文化を継承し更に拡大する為、川越最大のイベント「川越まつり」に乗せて「セミナー懇親会」を開催することになりました。

途中、東日本大震災で結果的に6年間に延びた中で、タイムリーなテーマ設定に対し、改めて学園の茅原先生始め諸先輩OBの人材豊富な環境に感謝しています。

「校友の絆と学園との連携」は会員の皆様との協力・支援があって成り立ち「学園と校友会は人なり」です。

我々の力で更なる発展に向け、絆を強く拡大できる事を祈念します。



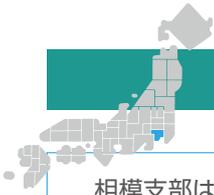
第5回 講演者:長澤一男さん1964年機械系卒



第6回 講演者及び参加者全員(川越東武ホテルにて)



平成28年埼玉県西支部新年会(花湯の森にて)石浦(建築系)OB経営



相模支部の活動について

神奈川県相模支部長 阿部 信夫

相模
支部

相模支部は神奈川県中央に位置し、6市2町村が当該区域となっております。会員数は大学に近い事もあって、約3,700名と県内5支部の中では最大数の会員を擁しております。行事は4月のボウリング大会、6月の支部会、10月のゴルフ大会、11月の忘年会と年間4回を定例としております。以下、支部行事について紹介します。

●ボウリング大会

4月26日、第3回ボウリング大会には、相模原市内のボウリング場に小学生を含む21名が参加しまし



た。平均年齢65歳とあって、皆さん若い時のイメージで投球するのですが、思い通りにボールが転がらず苦戦の連続でした。それでもストライクが出ると歓声が上がりがいに盛り上がっておりました。プレー終了後は表彰式を行い、続いて隣接のレストランに於いて和気あいの懇親会となりました。

●支部会

6月20日、「杜のホールはしも」で27名の出席者により支部会が行われました。はじめに、1972年建



築卒の村田敬一様による「富岡製糸場と絹産業遺産群」と題する講演があり、その後、報告会兼意見交換会となりました。出席者からは支部細則、維持協力費や支部選抜制度等の質疑があり、活発な意見交換が行われました。最後は会場を移し、飲み放題の懇親会となりました。

●第6回ゴルフ大会

10月30日、絶好のゴルフ日和で小田急藤沢ゴルフ場に近隣支部の3名を加え15名が



参加しました。当日はゴルフ場主催「箱根リゾートカップ」競技へも参加し、豪華賞品を目指して4組がスタートしました。コースは平坦で、70歳以上はシルバー打席可能とあって、高齢者多数の校友メンバーにとっては歓迎するところとなりました。表彰は「相模支部大会」と「箱根リゾートカップ」の両方で6名が該当し、ホテル宿泊券、ホテル食事券等豪華賞品を獲得しました。懇親会ではお互いにプレーの反省や近況報告で大いに盛り上がりました。

●忘年会

11月28日、橋本駅から徒歩5分程の中華料理店で忘年会を開催しまし



た。今回は初参加者2名と近隣支部から1名を加え33名の参加者となりました。最初出席者全員による記念撮影を行い、開会后、支部長挨拶、大学理事の長嶋様による乾杯の発声により2時



間飲み放題の忘年会となりました。宴会では初参加者の自己紹介、希望者による近況報告等となりました。最後はお互いに話が尽きず時間を延長し、幹事の小野寺様の中締めによりお開きとなりました。終了後も余韻が冷めずカラオケや飲み会等、気の合う人同士が三々五々と2次会に流れた模様でした。

～あれから15年～「リメンバー島根大会」第1弾実施!

島根県
支部

島根県支部長 中島 浩司

企画

家族同伴で参加する全国大会の先駆けとなった第13回全国大会「島根大会」から15年経過し、校友会の行事に参加する人達の顔ぶれも替わって、あの時の感動も過去の語り草となりました。島根県では大会当時75万人程度だった人口が毎年5千人ずつ減少し、ついに昨年は70万人を切って典型的な過疎化が進んでいますが、近年は出雲大社の遷宮や宮司と皇室との婚儀、松江城の国宝指定など注目を浴びた出来事が続き、さらに最近では松江市出身の錦織圭選手が活躍するなど話題は豊富です。先の全国大会「埼玉大会」で久し振りにお会いした多数の校友やご家族の方から15年前の思い出話に併せて「また島根に行ってみよう」との声を聴いて一念奮起! もう一度校友の皆様へ山陰・島根で楽しい思い出をつくらせていただこうと観光旅行「リメンバー島根大会」を企画しました。

第1陣13名の参加で決行

2015年校友会総会場で案内チラシを配布したところ、早速、高田理事長ご夫妻と本部新旧役員の方々12名、広島県支部から1名の申込みがあり9月19日～21日(2泊3日)に「リメンバー島根大会 第1弾」を実施しました。実施の希望日がこの

時期では珍しい大型連休中だったので、交通手段や宿泊所の手配に若干不安がありましたが多忙な皆様のご都合を優先して少々強引に準備を進めました。7月8日に松江城が国宝に指定され、その直後にNHKの「ブラタモリ」で松江城と出雲大社が続いて放映されると急激に航空券とホテルの確保が困難になり計画の一部を変更することにもなりました(石見銀山の観光中止)。

今回の行程として、往路はJAL便で出雲空港に到着、帰路は米子空港発のANA便を利用して荒神谷遺跡、出雲大社、松江城、足立美術館、水木しげるロードなどの観光と日本海の幸(白いか・岩ガキ・ノドグロ・紅ズワイガニ等)を味わいながら出雲地区で楽しんでいただくものになりました。運良く天候に恵まれトラブルや事故もなく秋の出雲地方の観光と風土を満喫していただきました。



盛会だった島根大会



荒神谷遺跡

全国で出土した数を上回る358本の銅剣がここで出土しました。誰が何のために埋めたか? 古代出雲に大勢力があったことを窺える場



出雲大社

島根の代表的な観光地で、60年に一度の屋根の葺替えが終わり、15年前とは見違えるほど綺麗になりました。縁結びの神様で若い女性の観光客が多いです。

松江城



7月に国宝に指定されて今最もホットな観光地

出雲そば



水木しげるロード 鬼太郎



足立美術館



米国の専門誌で日本一の庭園に連続13年選ばれ最近急激に人気上昇した観光地

「リメンバー島根大会」の第2陣、第3陣をお待ちしています。

この機会に山陰・島根の観光はいかがでしょう。ご家族連れや親しいお友達等のグループどうぞ! ご希望の方は、校友会本部事務局(03-3342-2064)又は島根県支部(担当平野:090-7136-4291)までご一報下さい。

工学院大学校友会第5回中国ブロック交流大会(しまなみ大会)を振り返って

広島県
支部

広島県支部長 神田 陽博

2015年10月3日・4日、校友会第5回中国ブロック交流大会を尾道市で、観光をしまなみ海道ということで開催しました。中国ブロック交流大会は校友会中国4県の交流会として2005年第1回大会を島根県三瓶温泉で開催され、広島県支部としては2007年10月に呉で開催した第2回大会以来2回目の担当となります。会場は尾道の老舗旅館「西山別館」にて大会・懇親会・2次会・宿泊。西山別館は昭和18年創業以来、多くの著名人が利用しており、手入れの行き届いた庭園、瀬戸内海を望む芝庭に点在する離れ、そして地元材料を使った上質な料理。日々の喧騒を忘れさせてくれる他では味わえない思い出の残る1日となって頂くことを思い準備致しました。参加者は島根県支部10名、山口県支部10名、広島県支部18名、本部1名の合計39名と多くの参加でした。



10月3日13時過ぎ、大会会場の西山別館を観光バスで出発、途中尾道駅に寄りボランティアガイド2人に乗車して頂き、長江口観光駐車場より千光寺山ロープウェイに乗車し、千光寺山展望台に行き、四国連山の素晴らしい眺望を満喫し、文学の小道、千光寺と徒歩にて坂を下り長江口観光駐車場着、近くの映画資料館を見学の後、観光バスで、原節子主演



の“東京物語”のロケ地、浄土寺着、現住職の案内で本堂その他一般観光客の入れない場所まで拝観させて頂きました。この浄土寺はお寺全体が国宝、重文の素晴らしいお寺で、校友の副支部長の前田君が住職と大変懇意にされており丁寧な案内をして頂き、参加者全員が大満足の後、西山別館に戻り、休憩後、交流会、懇親会、カラオケ、と大変楽しく親睦を深め就寝しました。

翌朝10月4日はしまなみ観光ということで、観光バスで西山別館を出発。尾道～向島～因島～生口島(瀬戸田)～大三島～伯方島とバスビューイング、しまなみ海道を走り四国今治、来島海峡大橋、瀬戸内の島々を一望できる大島の亀老山展望台に上がり、素晴らしいパノラマ展望を堪能したあと、大三島の大山祇神社に参拝、日本の国宝、重文甲冑の約4割があるという神社宝物館を見学、昼食を取りました。その後、瀬戸田出身の画家、平山郁夫画伯の美術館に行き、平山画伯の思いに触れさせて頂きました。平山郁夫美術館では校友の根葉君の兄上が事務局長をされており、特別に校友会の為に案内を手配して頂き、ゆったりしたすばらしい時間を過ごすことが出来ました。その後帰途に着き尾道駅経由で西山別館15時30分の解散となりました。2日間とも大変素晴らしい天気にも恵まれるとともに広島県支部の大会準備委員、校友の方々の熱意、協力により無事交流大会を開催出来ました事に大変感謝しております。又、今回参加協力して頂いた島根、山口の各県支部長様始め、校友会本部・支部組織部の渡辺様本当にありがとうございました。今回諸事情により、参加が叶わなかった鳥取県支部の校友の方々ぜひ第6回交流大会は御一緒に参加しましょう。その前に北海道全国大会がありますね。今回の第5回中国ブロック交流大会のメ挨拶は“参加者全員、校友会北海道大会でお会いしましょう”でした。



総務部

総務部長 関谷 重彦

総勢8名の総務部は原則的に毎月1度の部会を開催し、2015年度の重点審議項目であった代議員選出制度変更に伴う関連規則の改正、および2年後に迫った全国大会開催についてはどうあるべきかという基本的なことにまで遡って討議しました。前年度から検討を続けていた全国大会開催規則の改正や全国大会企画提案書のフォーマット作りなどを支部組織部と連携を取りながら作業を続け、定例の会合だけでは議論しきれないところは休日集まって集中討議を行ったりメールのやり取りで改正案を纏め上げて理事会に提出して承認され、次の全国大会北海道大会開催から適用されることとなりました。

代議員選出制度改革については、昨年の社員総会で改革の趣



上から右に、小口俊明(高)、小野寺康(化)、濱田昭夫(建)、関谷重彦(機)、植木幸裕(機)、佐藤英雄(建)、山川義則(専)、久禮和彦(電)

旨や改革内容について説明・報告がなされましたが、従来の選出方法とは大きく変わるため、その周知徹底を図るべく3回にわたって広報を出しました。即ち昨年10月に第1弾として選出制度が大きく変わることを知らしめる選挙啓発ポスターの作成、同年12月には第2弾、代議員立候補促進ポスターの作成、そして今年2月には第3弾、投票促進ポスターを作成して活気のある選挙が実施されるよう活動してきました。

重点審議項目以外でも、財務部や校友会事務局と連携して行った会計規則の改正や、まだ事務局関連の一部規則の改正が残っているものの、一般社団法人移行に伴う組織運営に関する規則の見直しも大方終わることができました。

現在は、総務部として一番の大仕事である第4回定時社員総会(5月29日)開催に向けて、これまでの反省点を踏まえ、活力のある総会がスムーズに遂行されるよう準備に入っています。

総務部は、各部に属さない事項も検討する部署でもあり、校友会全般の多様な課題に対応しております。もっと活力ある素晴らしい校友会にする為に、校友の皆様からのご意見を賜りながらこれからも活動を続けて参りますので、ご協力をお願い申し上げます。

財務部

財務部長 相澤 良夫

財務部は、四半期毎に開催する定例の校友会の会計チェック作業実施日を部会開催日として活動してきました。

平成27年度は次の活動および検討を実施しました。

1. 校友会の会計チェックを四半期毎に年4回実施

- 支出額と領収書金額を対比し、一致することを確認しました。
- 預金口座別残高と引当預金との金額が一致していることを確認しました。
- 決算書の勘定科目の大きな差異について確認することが出来ました。

2. 維持協定会費の検討

- 校友会の財政の収入源である会費収入が少子化に伴い会費収入が今後減少することから財政健全策として校友会員の皆様に維持協定会費納入のご協力の呼びかけ運動の展開をしてきました。

- 具体的には理事会、全国支部長会、代議員会時に維持協定会費納入のご協力を同級生・先輩・後輩に、支部会、同期会等の会合時に、皆様へ呼びかけをして頂くことをお願いを実施してきました。

- 初めての試みとして、社員総会の懇親会と新春の集いの会場に維持協定会費納入受付を設置し、納入ご協力を参加者にお願しました。
- 1月末までに797件3,527,180円(前年比33%増)と多大なご協力を頂きました。
- 平成28年度も引き続き、会員皆様に維持協定会費納入のご協力を推進することに決めました。
- 維持協定会費納入者ご芳名を校友会報vol.138以降も掲載することにしました。

3. 平成28年度予算編成の検討

- 財務部の使命について討議し、財務部は校友会財産の金庫番であること、校友会の財産を守ることが使命であることを部員一同共有いたしました。
- 平成28年度の予算編成は、各部からの申請予算額に対してヒアリングを実施しましたが、各部で再検討を行い、収支バランスのとれた予算を再提出して頂くことにしました。



広報部

広報部長 澤崎 宏

広報部は、校友会報の発行および校友会ホームページ(Webサイト)の更新・管理を主な活動として行っています。広報部の活動を通じて、会員の皆様に校友会の情報を幅広く発信し、校友会活動の魅力をお伝えしたいと考えています。

1. 校友会報の発行

年1回の発行物である「校友会報」を“手に取って読んでいただきたい”という想いで、部員一同、編集作業に取り組みました。

今年度はその第一歩として、ページ構成を大幅リニューアルし、校友会全体の一体感を生み出せるようにコンテンツのカテゴリー整理・見直しを行いました。各同窓会の活動ダイジェストとして「同窓会特集」の新設や、「OB・OG会特集」、「全国の支部特集」など、これまで以上に内容の拡充を行いました。また、紙面デザインもリニューアルしました。

今後も会員の皆様のニーズに応えられるような会報づくりに取り組んでいきます。

2. 校友会ホームページ(Webサイト)の更新・管理

校友会ホームページ(Webサイト)のメンテナンスを定期的実施しています。

今年度は校友会のイベント情報を、より分かりやすく会員の皆様へ紹介できるよう、Webサイトを一部リニューアルしました。

今後も多くの校友にWebサイトを閲覧してもらえるよう、校友会からの案内をはじめ、校友会イベントや支部・同窓会・OBOGからの様々な情報を、紹介していきます。



校友会報Vol.137のキャプチャー画像



校友会ホームページのキャプチャー画像

同窓会組織部

同窓会組織部長 小澤 和重

同窓会組織部は、各同窓会の協力のもとに行う新春の集いの計画・運営、学術講演会の博新会との共同開催などの事業活動、各同窓会の共通課題検討や行事・情報紹介などの活動を行っています。2015年度は次の活動を行いました。

1. 新春の集い2016

今年の「新春の集い2016」は、2016年1月10日に新宿キャンパス1階アトリウムで行われ、多くの校友に参加頂き、これまでにない大盛況な集いとなりました。校友の参加者目標420名に対し、393名で達成率94%ともう少しで目標を達成できる状況でした。しかし、校友の家族・来賓・イベント参加の学生を加えると489名で目標の480名をクリアし、大勢の参加者で賑やかな楽しい集いとなりました。

グリークラブOBと樹輪の会の素晴らしいコーラスや校友がメンバーの女性4人グループ“Future Ring”の軽快なテンポの歌、学生ソーラーカーチームの世界大会準優勝報告、お楽しみ抽選会など盛り沢山のイベントで大変な盛り上がりようでした。今年から始めた企画の留学生紹介や理事長・学長・校友会長と参加者の名刺交換タイムも大変好評でした。次回も校友に楽しんでもらえる集いにしたいと考えています。大勢の皆さんの参加をお待ちしております。

2. 学術講演会

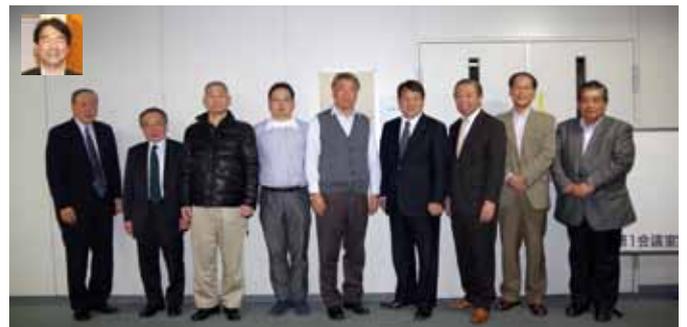
学術講演会は、3月12日に博新会と共同開催で講師に本学の高田眞理事長を迎え、「コアレスモーターの国産化とその活

用」という演題で行います。高田理事長は、本学電気工学科電子コースを1962年に卒業、フォスター電機に入社され、同社代表取締役社長を歴任し、現在、本学の理事長を務められています。

今回は、高田理事長がフォスター電機時代に手掛けられたコアレスモーターの国産化とその活用について興味深いお話しをしていただきます。

3. 各同窓会の行事・情報紹介

各同窓会の行事・情報紹介として、機械系同窓会の「活躍するOBの報告会」及び「秋の集い2016」、電気系同窓会の「日帰りバスツアー」、建築系同窓会の「波多江先生を偲ぶ会」などの紹介を行いました。今後も各同窓会の行事・情報等を紹介していきたいと思っています。



支部組織部

支部組織部長 上野 耕平

支部組織部は地域支部の活性化を目的とした支部に対するサービス部門です。

2015年度の支部組織部は8名の部員で、月1度の部会を実施し、以下の活動を行ってきました。

1. 支部設立に関すること

平成25年度の一般社団法人移行時に移行を完了した地域支部は41支部で、未移行支部は11支部でした。26年度に大阪支部が設立、残りは10支部となっておりますが、今年度は8月に石川県支部を設立、残り9支部の支部設立支援を進めています。

尚、支部設立時には活動資金が全く無い状態で活動をスタートしなければならないことから、支部設立時に活動資金が支給されるよう10月の理事会にて「支部設立に関する規則」を改定しました。

2. 支部の活性化に関すること

前年度の活動報告書を基に指数計算を実施し27年度分の支部活動支援金の交付を行いました。その効果として各地域支部の活動が活性化され、会員からの維持協力費の入金額も増えてきています。

また、会員の方が特別な事情がある場合、所属支部を変更出来るように支部運営規則を9月の理事会で改定しました。

3. 支部報告会等の支部活動に関すること

全国各支部の報告会兼意見交換会に積極的に参加(開催34支部中29支部)し、本部と支部のコミュニケーションを図りました。さらに、その模様を校友会ホームページの「支部組織部ニュース」や「支部掲示板」で極力紹介するようにしました。

4. 全国大会開催に関すること

埼玉大会の次の全国大会は平成29年9月9日に北海道(札幌)で行われることに決まりました。既に北海道支部では実行委員会が組織され、実施計画が動き出しています。支部組織部も11月のホームカミングデーや、1月の新春の集いで北海道大会のPRと参加者の募集を行い、北海道大会の成功に向け、支援を始めました。

5. 学園と支部との繋がりに関すること

大学父母懇親会への支部からの参加は定例化してきました。また、今年度は11月に開催されたホームカミングデーに各支部長から地域の地酒を紹介してもらい、参加者の方々に地域支部の存在をアピール出来ました。



「2017年全国大会・北海道大会」をPRする田中英生会長と支部組織部メンバー8名

学園連携部

学園連携部長 矢ヶ崎 隆義

学園連携部はほぼ月に一回のペースで部会を開催、2015年度は、特に校友会と母校学校法人工学院大学との協調・連携強化と、附属中・高等学校、大学、大学院の研究・教育活動と生徒・学生諸君自身の活動・生活への新たな支援の在り方などについて模索をしつつ、それらの具体的な展開を試みています。

1. 校友会による生徒・学生に対する助成金の交付

校友会助成規則に基づく助成金交付申請を受けて審議、理事会での議を経てソーラーカープロジェクト、中・高等学校吹奏楽部、同陸上部などに助成金を交付しました。尚、次年度に間に合うように、同助成金の学園全体での公募を可能とするなどの助成規則の整備などに着手しました。

2. 校友会の科学教室での情宣活動と校友による演示テーマへの参画の推進

8月22日(土)・23日(日)に、校友会として八王子キャンパスで開催された第21回「わくわくサイエンス祭 科学教室」に「校友会ふれあいブース」を設置、学園と共に歩む校友会を紹介するパネルの展示や資の配布、そして各同窓会の資料展示・配布が行われ、教職員や一般の来場者への情宣活動を展開しました。また、ブースには多くの卒業生が訪れると共に卒業生同士の交流も生まれ、卒業生の交流の場としての役目も果たしました。

一方、校友会会員の運営による二つの演示テーマ(「飾り炭を作ろう」、「君は“スーパー竹とんぼ”に勝てるか!」)が参加、多くの子供たちが理科学を楽しみました。

3. 校友会のホームカミングデーへの開催支援と独自企画での参画

学園主催のホームカミングデー(11月7日 新宿キャンパスにて)の開催について学園総務課と合同運営委員会を構成して開催準備及び開催・運営支援(資金支援を含む)をすると共に、校友会の独自企画として支部組織部と各支部の協力を得て全国の地酒を集め振舞う「地酒バー《JIZAKE-BAR》」を設け、世代を超えた卒業生の交流の場を提供、好評を博しました。

4. 校友会と後援会との連携強化

大学生の父母によって構成される後援会との連携のために、昨年度に引き続き全国で開催されている父母懇談会に各支部長或いは支部校友が参加しました。併せ、父母懇談会にて校友会としてその地方での就職支援等を実施できる体制を構築するために、就職支援課との打ち合わせなどの準備に着手しました。

5. 校友会会員による学園支援システムの構築

大学や中・高等学校の教育(特別講座、工場見学、インターシップ等)あるいは教育情宣を目的とする活動(学園外の高等学校での出張授業・実験等)を支援する校友組織の構築のため、そのニーズの確認と提供できる内容の精査を開始し、次年度の施行に向けた準備に入りました。

6. 校友子女に対する支援

引継ぎ事項であった「校友子女に対する校友の貸部屋斡旋制度」について、そのニーズ及び部屋提供の可能性と他大学での実施状況について精査を実施した結果、現時点での同制度の実施は難しいとの結論に至りました。

第10回東京マラソン応援活動を終えて 体育会連合OB会

工学院大学の立地を生かした、第10回東京マラソンの応援活動が今年も2月28日に行いました。新宿キャンパスを開放して、約2,000名のランナーにトイレ及び着替えの場所を提供するとともに、2,600枚の工学院大学ロゴ入りハンドタオルを配布する応援です。

今年は地下道の工事に伴い通路が狭い中、事故やケガ人並びに不審物や不審者等もなく無事に終えたことに安堵しております。

この応援活動には体育会学生とOBが主体となり後援会・学園・校友会の協力並びに支援を頂き、「オール工学院大学」として朝早くから活動いたしております。

今年も本学から、林 秀幸氏(1984年機械工学科卒)、正木 圭氏(2007年情報工学科卒)の2名のOBがランナーとして選ばれ堂々と完走されました。

利用されたランナーの皆さんからは「ありがとう」の言葉を頂き、工

学院大学のイメージアップにも貢献できたと思ひ、来年への活力となりました。

引き続き東京マラソン応援活動は継続していきたいと考えておりますので、皆様のご協力をお願い申し上げます。



ホームカミングデーの開催支援と独自企画での参画

校友会は、学園開催事業である「ホームカミングデー」について、学園総務課と共同の運営委員会を構成して開催準備及び開催・運営支援を行いました。また、今回は新たな取り組みとして、校友会の独自企画「地酒バー(仮称)」を構想、全国の支部の校友の方々に銘酒の推挙をお願いしました。支部組織部と各支部の協力が得られ、続々全国の校友から推挙する地酒情報が集まりました(中には、地酒そのものが届いた場合もありました)。一方、「地酒バー」の名称については、若い校友である大学院在学生の向風氏から「地酒バー《JIZAKE-BAR》」の名称が提案され、正式名称として準備を進めました。推挙された銘酒を事務局にて集めると同時に、支部から届いた現

物を含め41銘柄が用意されました。

当日の振る舞いは、各支部から参加下さった校友が多数担当して下さり、特別に用意した杯にて味わっていただける趣向となりました。147名の方々が杯を片手に各地の地酒を楽しみつつ、世代を超えた卒業生同士の交流の輪ができ、好評を博しました。



2016年度校友会の主な行事予定

開催予定日	行事予定	開催場所	問い合わせ先
5月28日(土)	2016年度全国支部長会	新宿校舎	校友会事務局 【電話】 03-3342-2064 03-3340-1649 【Fax】 03-3342-2035 【e-mail】 jimukyoku@kogakuin.or.jp
5月29日(日)	第4回社員総会 (同時開催:各同窓会報告会・懇親会など)	新宿校舎	
1月8日(日)	新春の集い2016	新宿校舎	
3月中旬予定	学術講演会	新宿校舎	

学生・生徒の表彰報告(2015年度総会において)

大学院	専攻	氏名
	機械工学専攻2年	西 貴大
	化学応用学専攻1年	山田 航平
	電気・電子工学専攻1年	大割 健史
	情報学専攻1年	森 千夏
	建築学専攻2年	大塚 薫

大学	学 科	氏名
工学部1部	機械工学科2年	大野 隆幸
工学部1部	機械工学科2年	菊池 哲
工学部1部	機械システム工学科2年	足立 菜美
GE学部	機械創造工学科2年	寺澤 駿
工学部1部	応用化学科2年	笠井 茜
工学部1部	環境エネルギー化学科2年	廣澤 史也
工学部1部	環境エネルギー化学科2年	鈴木 優斗
工学部1部	電気システム工学科3年	大橋 祐介

工学部1部	情報通信工学科4年	栗原 駿
情報学部	コンピュータ科学科2年	至勢 智貴
情報学部	情報デザイン学科2年	田村 友宏
建築学部	2年	松田 貴裕
建築学部	2年	大野 翔馬
建築学部	2年	植月 京甫
工学部2部	建築学科2年	柳谷 佑

附属高等学校	学 年	氏名
	中高一貫コース2年	高崎 未紗
	中高一貫コース3年	田代 朋睦
	普通コース3年	藤澤 瑠美

附属中学校	学 年	氏名
	3年	高橋 侑花
	2年	古畑 翔大



学術講演会

2015年度の校友会学術講演会は、工学院大学博新会と共催で、講師に元フォスター電気(株)代表取締役社長・現学校法人工学院大学理事長 高田 貢氏を迎え、「コアレスモーターの国産化とその活用」という興味深いテーマで2016年3月12日に新宿キャンパスで行われました。佐藤光史学長など学園関係者および中島淳博新会会長をはじめとする約60名の校友が集まり熱心に聴講しました。



受章報告

橋爪 毅 氏 黄綬褒章受章

2015年秋の褒章で、橋爪 毅氏(1967年大学生産機械工学科卒業)が黄綬褒章の栄誉を受けられました。黄綬褒章は、永年にわたり消防機器の研究開発、製造販売、消防設備保守等の業務に精励するとともに業界の発展に大きく寄与した者として与えられる褒章です。橋爪 毅氏は1967年に工学院大学を卒業後、能美防災株式会社に入社され

た。当時、現在ほど社会の防災に関する意識が高くない中、防災技術のパイオニアとして常に「もしも」を想定し、火災報知設備や消火設備をはじめとする各種防災システムなどを開発され、社会の安全に貢献されてきました。

現在、能美防災株式会社代表取締役会長として、より安全で安心できる社会づくりの為に活躍されています。



校友会談話室のご利用について

新宿校舎の高層棟28階にある校友会談話室は、校友会員間の親睦や同期会、サークル等でご利用いただけます(16名程度まで)。日曜・祝祭日・学園休日を除く9時から17時までご利用可能です。セルフサービスのコーヒーを用意しておりますので、会員の皆様が東京・新宿においでになった際は、どうぞお立ち寄りください。

ご利用のお申込みは校友会事務局をお願いします。

(校友会HP(申請・届出フォーム)からも申し込みができます。お申込み後、事務局から利用可否を返信いたします。)

〈校友会事務局〉

E-mail : jimukyoku@kogakuin.or.jp
電話 : 03-3342-2064

ファカルティクラブのご利用について

新宿校舎中層棟8階にあるサロン調のファカルティクラブは、会員の方々が校友会事務局経由で利用申し込みをされた場合には、利用料が無料となります(50名程度まで)。同窓会、支部・クラス会、懇親会等にご利用ください。

ご利用のお申し込みは、校友会事務局をお願いします。

(校友会HP(申請・届出フォーム)からも申し込みができます。お申込み後、事務局から利用可否を返信いたします。)

〈校友会事務局〉

E-mail : jimukyoku@kogakuin.or.jp
電話 : 03-3342-2064

訃 報

次の方々が逝去されました。生前のご活躍を偲び、謹んでご冥福をお祈りいたします。

校友会代議員・前機械系同窓会幹事
工学院大学名誉教授
校友会代議員・前東京支部副支部長

梶田 和男 氏
波多江 健郎 氏
佐藤 信一 氏

平成27年 8月19日ご逝去
平成27年10月25日ご逝去
平成28年 2月25日ご逝去

教育・研究環境の整備事業募金

本学園の前身である工手学校が1887(明治20)年に開学以来、幾多の変遷を経て現在、大学・大学院、附属中学校・高等学校からなる約8,000名の学生・生徒が学ぶ学園として発展してまいりました。近年、中・高等教育の教育環境がめまぐるしく変わり、私立学校間の競争が激しくなっております。そのような環境下で本学園は社会から評価され、在学生・生徒が誇りを持って学べる学園でなければなりません。

この実現のために、長期計画「VISION150」および中期計画「コンパス2017」を策定し、現在、学園改革に取り組んでおります。

本学園は、2017(平成29)年に創立130周年を迎えます。これを機に「コンパス2017」計画の総仕上げとして、学園のブランド力をさらに高めるため、新たに、メディアセンターを兼ねた新2号館を建設します。また、学生・生徒の創造活動を支援するために、募金活動を開始いたしました。

なにとぞ、この募金活動の趣旨にご賛同いただき、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

学校法人工学院大学 理事長 高田 貢



教育・研究環境の整備

新2号館は、情報学部と先進的な図書館が融合したメディアセンターです。新たなキャンパスのシンボルとして誕生します。建設地は、附属中学校・高等学校にも近く、中学生も自由に利用できる施設です。最新のIT機器や多様な学習スペースを備えた自主学習のための場所「ラーニングcommons」を充実させることによって学生・生徒の創造的な学びを活性化させ、さらなる中高大連携をめざします。



免震構造で、安全・安心に配慮した建物です。



大学、附属中学校・高等学校がともに使える4階内部(完成イメージ)

学生・生徒の創造活動支援

大学生のプロジェクト活動、附属中学校・高等学校生徒の主体的活動を対象に、優れた活動に対して、重点的に支援していきます。



大学では11のプロジェクトが進行中で、日々創造活動に励んでいます。



附属中学校・高等学校では、課外活動を通し大切な仲間との出会い、さまざまな経験を積むことで豊かな人間性と個々の主体性を育てています。

募金募集概要

- 募金目標額／3億円
- 寄付金額／個人 様：一口(1万円)以上(一口に満たないご寄付でもお受けいたします。) 法人・団体様：金額は特に定めておりません。
- 募金期間／2015(平成27)年11月～2018(平成30)年3月

【問い合わせ先】

学校法人工学院大学 総務・人事部 総務課 TEL:03-3340-0121 E-mail:donation@sc.kogakuin.ac.jp
 寄付の申し込み等詳細は <http://www.kogakuin.ac.jp/130/application.html>を参照

旅情を誘う 小樽運河界隈



夏の一番 よさこいソーラン祭り

四季の移り変わりを楽しみながら、
大地の恵みを堪能し、
明日への活力をはぐくむ...



札幌時計台 (農学校演舞場)

第18回

工学院大学校友会

全国大会・北海道大会

2017.9.9 土

- 会 場 / 札幌市 ポールスター札幌
 - 大会式典 / 16:00~
 - 祝賀パーティー / 18:00~
- 記念イベントなど話題豊富で皆様の参加お待ちしております

青年よ大志を抱け クラーク博士像



北海道で
お待ちしております



アイヌ文化

お申し込みは下記アドレスからできます
<http://www.kogakuin-koyukai.jp/>

工学院大学校友会 工学院大学北海道大会実行委員会

維持協力会費納入者ご芳名

日頃より校友会活動にご理解とご協力を頂き厚く御礼申し上げます。維持協力会費納入のお願いに際しましても多大なご協力を頂きありがとうございます。

おかげさまで、1月末までに797件 3,527,180円のご協力を頂きました。

校友会活動や学園及び学生支援の一部に有効に運用しておりますことをご報告申し上げます。

2016年1月末までに維持協力会費を納入された方々のお名前を同窓会別、卒業年順に掲載しております。

敬称は省略いたしました。

複数の同窓会所属の方は振込票の会員番号の同窓会に掲載いたしました。

【機械系同窓会】											
1944	張 信経	1965	田辺 英孝	1970	小川 静雄	1987	細田 健司	1963	佐藤 俊彦	2007	村上俊太郎
1947	池田 修	1965	根本 虎彦	1970	梶田 和男	1987	紫藤 俊郎	1963	小泉 四郎	2008	三輪 大雅
1948	水嶋 国臣	1965	弓削 武男	1971	遠藤 悦治	1989	山名 正哉	1964	高橋 卓雄	2010	勝亦 弘典
1952	田島 邦久	1965	岩田 秀明	1971	川島 吉博	1993	武下 研	1964	吉岡 利幸	2012	小暮 裕一
1953	今関 和道	1965	尾身 幸男	1971	久米 俊夫	1993	當麻 秀樹	1964	金井 巧	2014	山田 千絵
1956	横地 良成	1965	白木信二郎	1971	有岡 光男	1993	川西 弘城	1964	須田 俊男		匿名 14名
1956	鶴田 明雄	1965	内山 逸弘	1971	縣 純治	1997	榎本 卓晃	1964	石川 一男		
1956	青木 浩一	1966	岩本 信治	1971	駒澤 猛	1998	白鳥 邦晃	1964	苅部 宣一		
1957	柿木 秀輝	1966	柴 和利	1971	渋谷 佳男	1999	稲葉 誠治	1964	菊地 興治		
1957	小川久二男	1966	榎本 光孝	1971	前田 道德	1999	坂口 教子	1964	佐藤 恵子		
1957	杉浦 康平	1966	高松 良貞	1971	小川 和雄	2000	宮田 恵子	1964	湯川 治夫		
1957	田中 照夫	1966	浦田 精一	1971	小川 文夫	2001	岡村 茂暁	1965	山崎 哲三		
1957	仲田 桑男	1966	本田 信之	1972	天沼 茂夫	2004	高橋 謙介	1966	大津幹太郎		
1957	岡田 明	1966	杉山征太郎	1972	水澤 久夫	2005	大岩 久峰	1966	吉川 重克		
1958	斎田 三郎	1966	村上 弘	1972	熱田 学	2006	山口 裕大	1966	若松 昭秀		
1958	伊藤 正	1967	上原 成介	1972	金井康太郎	2007	山村 秀太	1966	渡辺 麻男		
1958	矢崎 敬輔	1967	久保 勉	1973	堀内 博典	2008	稲井 憲二	1966	松井 征男		
1958	大橋 作栄	1967	今野 修	1973	栗本 茂生	2015	森崎 由高	1967	長島 珍男		
1961	渋谷 博明	1967	紺屋 隆	1974	岡崎 明男	匿名	29名	1967	東條 博典		
1961	高橋 淳	1967	中谷 忠雄	1974	大野 好和			1968	遊馬 靖美		
1961	山田 孝昭	1967	茂木 一男	1974	山下 晴久			1969	金子 直之		
1961	横松 壽二	1967	安藤 建	1974	岡崎 孝宣			1969	森 武昭		
1962	齊藤 四郎	1967	井口 篤	1974	植木 幸裕			1969	斉須 正男		
1962	福田 忠彦	1967	根本 俊雄	1975	井坂 隆一			1969	渡辺 健人		
1962	宮内 保幸	1968	簡野 紀夫	1975	唐鎌 貞郎			1970	田中 宣雄		
1962	宮野 昇	1968	木下 幸秀	1976	唐鎌 貞郎			1970	山崎 正		
1962	猪狩 一守	1968	木下 幸秀	1976	柴田 誠			1971	和田 欣也		
1962	橋本 賢司	1968	塩川 悦男	1976	高橋 寛仁			1972	秋田 彰一		
1962	森川 勇	1968	大山 正雄	1977	磯久 毅			1973	志村 豊		
1962	吉川 和彦	1968	重村 修二	1977	小島 雅昭			1973	白井 精滋		
1963	雨川 勉	1968	滝島 正之	1977	佐藤 賢一			1973	白井 精滋		
1963	久保田 茂	1968	田口 実	1978	立沢 秀己			1974	浜田 康裕		
1963	馬場 靖孝	1968	田口 進一	1978	平田 三雄			1974	中島 敏夫		
1963	日野 岩雄	1969	和田 進一	1979	矢沢 尚彦			1974	井上 明博		
1963	宮田 健二	1969	大野 英夫	1979	加藤 均			1974	菊川 博文		
1963	北川 邦雄	1969	中台 好弘	1979	加藤 均			1974	矢ヶ崎隆義		
1963	返町 功	1969	南 弘	1979	北村 友一			1976	乾 義秀		
1963	草間 祥介	1969	小栗 賢一	1979	佐藤 実			1976	小林 雅己		
1963	鈴木 陸	1969	多田 庸男	1980	羽太 勇			1976	宮下 一義		
1963	三村 喜宏	1969	眼目 毅	1980	畑 淳一			1977	田中 俊英		
1964	笠原 又一	1969	三輪 明	1980	福泉 正人			1978	鎌田 明		
1964	田中 瑞樹	1969	並木 光雄	1980	高野 優			1978	宮坂 金吾		
1964	山梨 利夫	1969	福田 末廣	1980	岡尾 克彦			1978	北村 邦夫		
1965	小林 朗	1970	浅見 憲一	1980	鈴木 勝彦			1978	浅利 信博		
1965	澤井 年治	1970	石田 英雄	1981	近藤 智			1979	森田 保		
1965	関谷 重彦	1970	上田浩四郎	1981	千賀 吉展			1979	木村 勝		
1965	田中 英生	1970	太田 克己	1981	早見 功			1981	佐藤 行夫		
1965	酒井 康雄	1970	武田 光雄	1983	秋葉 宏			1982	佐藤 重剛		
1965	志賀 剛	1970	播田 光行	1984	根本 雅美			1982	藤田 芳雄		
		1970	平野 達彦	1985	海江 秀樹			1983	馬場 進		
		1970	小磯 章治	1985	小倉 佳剛			1988	飯嶋 康順		
		1970	相原 邦男	1985	谷井 繁夫			1993	島田 博文		
								2002	鈴木 優一		

【電気系同窓会】

1952	荻島 健晃
1959	中村 輝一
1959	安井 通八
1960	森 茂樹
1960	河本 洋次
1961	中下 正彦
1961	加藤 昇一
1961	佐藤 健
1962	鈴木 良平
1962	藤村陽一郎
1962	高村 劼
1962	磯 三男
1962	加藤 勇
1962	佐藤 英寿
1962	高田 貢
1962	橋本 保秀
1962	元川 清一
1962	上杉 隆志
1962	糸数 倫則
1963	鮎澤 壽久
1963	内田 忠男
1964	池田 誠一
1964	瀬川 信良
1964	藤堂 配
1964	鳥羽 栄治
1964	日吉 静男
1964	渡辺 静雄
1964	仲原 里治
1964	石塚 良昭
1964	産屋敷和生
1964	蔭山 洋一
1964	高橋 静昭
1964	福元 儀智
1964	水江紀久雄
1965	大川 晶生
1965	小早川庸行
1965	藤保 昇
1965	黒澤 兵光
1965	長井 晴光
1966	大家 正男
1966	倉賀野孝行
1966	松本駿太郎

1966 錦織 康男
1967 長沢 勝輝
1967 秋山 仁士
1968 遠藤 昊
1968 木下 勝博
1969 井上 公男
1969 羽賀 進
1969 藤田 昌彦
1969 笠原 幸兵
1969 荒川 捷英
1969 三好 和憲
1970 梶 孝秋
1970 小林 啓一
1970 小鳥 敏明
1970 江頭 虎夫
1970 小林 利道
1970 藤原 俊男
1970 椋田 實
1970 芳田眞喜人
1970 川上 俊夫
1970 來住 康弘
1970 福田 孝一
1970 甘粕 一彦
1970 市川 新
1971 奥原 正道
1971 小野 彰
1971 長谷川 努
1971 堀内 敏夫
1971 横須賀哲雄
1971 吉浜 一
1971 阿久津健三
1971 佐々木三七司
1971 橋本 信一
1971 仲本 隆司
1972 石川 勲
1972 齊藤 周平
1972 山田 弘
1973 小澤 和重
1973 小野 幸男
1973 石北 宗一
1973 上野 耕平
1973 大野耕市郎
1974 島林 正美
1975 徳田 博文
1975 嶋崎 和夫
1975 大舘 重雄
1975 藤原 達雄
1976 内田 孝男
1976 伊藤 建介
1976 吉川 博邦
1976 吉賀 撰
1977 前田 立雄
1977 稲垣 信夫
1977 中田 一寿
1978 日下田 稔
1978 佐藤 昌志
1979 綾部 栄
1979 北野 誠
1979 根本 弘道
1980 関根 昌裕
1980 服部 倫明

1980 藤原 義之
1981 小塚 貢
1981 竹中 了
1981 魚 譲司
1986 宮木 義雄
1988 水野 智
1988 山田 清
1988 稲葉 秀一
1989 斎藤 義則
1989 田中 肇
1991 鷹野 聡
1995 田中 久弥
1995 渡辺 裕明
1995 羽鹿 正敏
1997 森田 謙司
1998 早乙女拓栄
2000 菲澤 一之
2001 竹辺 英昭
2002 小田切雅志
2002 中島 淳
2006 河野 雄二
2010 野中 真生
2010 穴戸 正俊
2014 芝 鷹文
2015 佐々木宥朔
匿名 50名

【建築系同窓会】

1958 金田 昭治
1959 神前 健
1959 矢田 清治
1959 南迫 哲也
1961 北澤 興一
1962 板谷 信
1962 谷 政美
1962 山田 伸一
1962 北澤 洋子
1962 西村 武
1962 山本 海南
1962 矢下 光次
1963 石川 良男
1963 勝俣 邦雄
1963 藤森万里夫
1963 渡辺 園武
1963 奥田 幸司
1964 上條 辰宏
1964 望月 大介
1964 木村 光信
1965 伊藤 肇
1965 浜田 肇
1965 田中 孝
1966 大幡 寛
1966 小松 厚彦
1966 矢田 和弘
1966 中野 昭則
1966 牛山 宏子
1966 藤原 康彦
1966 山田 雅孝
1966 関 五郎
1967 上野 光三
1967 瀬崎 宣利

1967 関屋 健一
1968 内山 一郎
1968 福島 正紘
1968 阿部 信夫
1968 伊庭 孝
1968 伊藤 真人
1968 日下部銚五郎
1968 丸山 洋征
1968 具志堅光男
1969 谷口 宗彦
1969 辻 好文
1969 森田 博
1969 松本 一男
1969 小泉 国安
1969 鈴木 尚
1969 前田 清行
1969 柳川 道男
1969 木村 雅俊
1969 高橋 一元
1969 小林 重欣
1969 坂口 周平
1969 本沢 宗夫
1970 岩瀬 栄子
1970 渡部 哲次
1970 小名木朝光
1971 川澄 武彦
1971 内藤 幹雄
1971 横尾 格美
1971 鈴木 章幸
1972 田中 幸二
1972 中島 範義
1972 梶 徳治
1972 佐藤 英雄
1972 鈴木 達志
1972 濱田 昭夫
1972 村田 正道
1972 岡 齋文
1973 山崎 忠幸
1973 阿部 信義
1973 吉田 登
1973 島田 敏幸
1974 廉沢 映治
1974 河野 工
1974 篠原 良
1974 平田 洋一
1974 岸本 卓
1974 木村 薫
1974 楠 昭
1974 大島 英雄
1974 西村 篤行
1975 高橋 孝栄
1975 菅野 茂
1975 依田 一
1976 後藤 敏明
1976 嶋田 修
1976 山越 衛
1976 小野 正
1976 五月女元良
1976 吉田 進
1977 加藤 隆弘
1977 霜田 隆

1978 伊藤 敏
1978 伊藤 敏博
1978 森 正夫
1978 高野 松寛
1978 安田 哲哉
1978 渡辺 貞承
1979 梅津 久義
1979 関谷 真一
1979 高木 雅行
1979 花岡 栄治
1979 生沢 保雄
1980 石賀 将己
1980 上野 博史
1980 渋谷 成一
1980 知花 毅
1981 澤崎 宏
1981 馬場 眞
1981 山根 秀明
1982 芝山 重憲
1982 石毛 宏一
1982 鈴木 敏彦
1983 大谷 孝志
1983 影長 伯実
1983 種市 俊也
1983 高田 良晃
1984 川上 一盛
1986 不破 達生
1987 下田平 滋
1989 山本 修
1989 吉田 勝彦
1989 間間 至
1991 新海 俊一
1999 森 真司
2001 野本 浩平
2002 玉城 英之
2004 篠崎 康治
2004 平井 充
2004 片桐 和也
2005 卯月 淳
2009 山岸 梨香
2009 安武 克人
2009 平沢 祐太
2012 倉澤 良
2012 仲野 祥平
2013 中野 里美
2014 清水 大地
2015 吉野 隆史
匿名 37名

【附属高校同窓会】

1951 稲葉 勇
1955 倉内 成彬
1955 瀧島平八郎
1957 田口 孝尚
1957 石渡 秀夫
1957 米沢善治郎
1957 小林 鶴夫
1957 内田 忠男
1958 高橋 庫治
1960 高木 賢治
1960 五十嵐 功

1961 三宅 捷夫
1962 廖 以信
1963 大沢 勲
1963 小林 保男
1963 鄭 雄飛
1966 有岡 光男
1967 岡元 由雄
1967 星野 明
1968 若林 勝司
1969 君塚 貞夫
1972 太田 正利
1974 岡安 彰
1974 内野 正之
1975 梅田 俊幸
1976 小口 俊明
1991 関谷 茂
1994 田島 徳仁
1994 熊川 輝之
2004 土志田 悟
2011 池田 武
2012 三原 沙織
2015 有田 咲
匿名 9名

【専門学校同窓会】

1953 橋爪 積
1955 原田 鉄司
1956 小嶋 正夫
1958 鍛冶倉公幸
1958 梶野 和己
1958 千代田節雄
1960 関口 守正
1961 佐久間惣喜
1961 清水 正和
1962 皆川 誠吉
1962 佐藤 敏勝
1962 竹内 幸雄
1963 豊岡 昭男
1963 千葉 清
1964 安永 芳弘
1964 井筒 威夫
1965 塩原 清
1965 利部 靖彦
1966 赤木 啓利
1966 小林 保弘
1966 畠山 忠弘
1966 石渡 宏侑
1966 鈴木智香子
1967 佐藤 春治
1967 原山 茂
1967 田中 良夫
1968 酒井 亮生
1968 高梨 史右
1968 丸山 侶明
1968 小川 勉
1968 川崎 正美
1968 田中 明彦
1968 時田 静雄
1968 永村 成雄
1968 樋口 幸英
1968 山川 義則

1968 和栗 恒雄
1968 渡辺 征三
1968 山崎 洋二
1968 加藤美恵子
1970 貴船 一夫
1970 鈴木 欣吾
1970 銭谷 道徳
1970 書上 正
1971 高橋 一
1971 篠崎 秀夫
1971 井上 忠孝
1972 加藤 豊
1973 鎌田 健一
1973 能登谷勇治
1974 御旅屋 豊
1974 近藤 松男
1974 紺野 茂男
1976 藤田 純一
1977 島森 清
1978 大栗 久義
1979 石川 政樹
1979 行川 雅康
1981 河本 裕三
1983 渡邊 克己
1985 酒井 晃
1985 櫻井 良尚
1985 広瀬 竜也
1986 武田 信夫
1986 東 正祥
1988 町山 和人
1990 小武 善行
1991 下村 賢司
1992 室井 均
1993 中村 壮一
1993 田口 勝一
1994 川村 謙二
1995 遠藤 正憲
1997 齋藤 研吾
1999 糸数 義宏
2001 松井 哲司
匿名 14名

【団体】

かにこむ
海外工業技術移住研究部OB会
宮崎県支部
関東地区支部長懇談会
匿名3団体

今後も本学の名誉となる研究活動、世界レベル・全日本レベルの大会での学生活動に対して支援して行きたいと考えております。皆様方のさらなるご協力を頂きたいお願い申し上げます。

reddot award 2015
honorable mention

if DESIGN
AWARD
2015

GERMAN
DESIGN
AWARD
NOMINEE
2016

GOOD DESIGN AWARD 2015



Tipo-NST

axona AICHI

集いと学び空間をデザインする

愛知株式会社

東京本部：
東京都中央区新川1-17-25 東茅場町有楽ビル1F
TEL 03-6222-0816 FAX 03-3555-0016

本 社：
愛知県名古屋市東区筒井3-27-25
TEL 052-937-5931 FAX 052-937-7146

<http://www.axona-aichi.com>



くつろぎ、味わい、楽しむ。

ホテルのあたたかさ
感じてください。



京王フラザホテル

〒160-8330 東京都新宿区西新宿2-2-1
TEL. (03) 3344-0111
<http://www.keioplaza.co.jp/>

JR・私鉄・地下鉄「新宿駅(西口)」「西新宿駅」より徒歩5分
都営大江戸線「都庁前駅」B1出口すぐ

これまで、そしてこれからも

工学院の皆さんのキャンパスライフをサポートします。



▼八王子購買書籍部

▲八王子食堂部



工学院大学学園生活協同組合

本部

TEL : 042-633-9012 / FAX : 042-624-5387

E-mail : kogakuin.h@fc.univcoop.or.jp

URL : <http://www.univcoop.jp/kogakuin/>

建材で暮らしを支えて“60年”

安全、安心、快適を提供しこれからも社会に貢献いたします。



三和グループ 三和シャッター工業株式会社 03-3346-3011

この先の豊かな社会を見つめています。



左の形は「見つめる」を表す象形文字。
中国雲南省ナシ(納西)族に伝わるトンパ文字のひとつです。
一目ただけで文字の意味を理解できるその形は、
1000年もの時を超えて継承され、いまなお多くの人々に親しまれています。

島津理化は思います。
真の豊かさは、こうした誰にとっても
わかりやすい価値観を提供していくことではないかと。
そして、これからの社会で本当の豊かさを育てていくには、
高度に進化した科学がその大きな原動力になるのではないかと。

**私たちは、島津製作所グループの一員として、
豊かな未来を拓く科学技術の発展に向けてトータルソリューションで貢献します。**

解く力, 拓く心。いざ, 科学技術の明日へ。

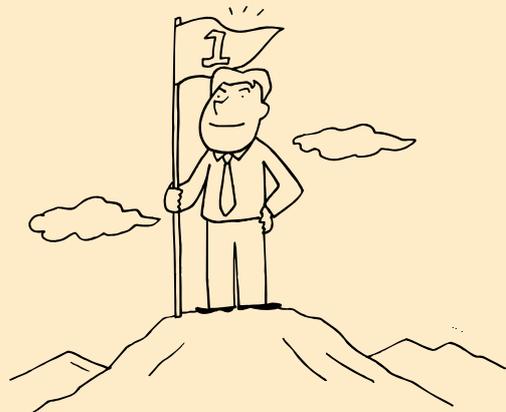
株式会社 島津理化

<http://www.shimadzu-rika.co.jp/>

本 社 〒136-0071 東京都江東区亀戸6-1-8 TEL(03)5626-6600
支店・営業所 ●札 幌(011)758-0788 ●仙 台(022)380-8950
●東 京(03)5626-0210 ●名古屋(052)571-9166
●大 阪(06)6375-2551 ●広 島(082)504-6120
●福 岡(092)271-1418
海外ビジネス推進部 ●東 京(03)6861-9401

お客様にとって いちばんの印刷会社になろう。

NPC日本印刷の仕事は、
お客様のお役に立つこと。
「やっぱり**NPC**でなくちゃ」といわれる
会社をめざして、がんばっています。



NPC 日本印刷株式会社

〒170-0013
東京都豊島区東池袋4-41-24 東池袋センタービル
電話03(5911)8660(代) <http://www.npc-tyo.co.jp/>

当社は今年、創立100周年を迎えました

能美防災は、自動火災報知設備と消火設備のトップメーカーです。



NOHMI 能美防災

代表取締役会長 橋爪 毅 (本学生産機械工学科 1967 年卒)

本社: 〒102-8277 東京都千代田区九段南4丁目7番3号
西関東支社: 〒192-0082 東京都八王子市東町2番12号

丸大食品



心に残る贈り物



王覇

熟成ならでの深い旨味とまろやかさ

2013 モンドセレクション
最高金賞

王覇ホワイトロースハム
王覇ホワイトボンレスハム

7日以上じっくり熟成させることで、豚肉の旨みを十分に引き出した特定JAS規格。しっとりとしたやわらかさと、熟成によって生み出された豊かな旨味をお楽しみいただけます。

《丸大のギフトは、どなたにも喜ばれます。》

お歳暮・お中元の時期のほか、記念品・新築祝・開店祝
御礼・内祝・快気祝等、いつでもご利用になれます。

丸大食品株式会社 東日本特販営業課

〒135-0051 東京都江東区枝川2-23-2

TEL03(3647)3270 FAX03(3647)3274

選ばれて、1兆円。

お陰様で、平成28年1月、
長期固定金利住宅ローン【フラット35】の
累積融資額が1兆円となりました。

これまでご利用頂きました約38,000家族の皆様方
ありがとうございました。



株式会社 優良住宅ローン

本社所在地: 東京都新宿区一丁目3番12号 壱丁目参番館5階 電話: 03-6457-7451 (代表)

優良住宅ローン

検索

●会社概要

社名 株式会社 優良住宅ローン
代表者名 代表取締役 田野邊 幸裕
(建築学科 昭和44年卒業)
許可等 貸金業 関東財務局長(3)第01443号
日本貸金業協会会員番号: 第003153号
設立 平成17年2月25日
資本金 6億円

●拠点

本社 東京都新宿区新宿1-3-12 壱丁目参番館5階
仙台支店 仙台市青葉区大町1-2-1 ライオンビル7階
名古屋支店 名古屋市中区栄4-3-26 昭和ビル1階
神戸支店 神戸市中央区京町79 日本ビルディング9階
広島支店 広島市中区大手町3-2-31
損保ジャパン日本興亜広島大手町ビル8階
高知店 高知市杉井流16-27 フレンドフォーC
福岡支店 福岡市博多区博多駅前2-1-1 福岡朝日ビル4階
鹿児島店 鹿児島市鴨池2-1-1 アーバンスクエア東邦3階

【フラット35】とは、独立行政法人住宅金融支援機構と民間金融機関が提携して皆様に提供している長期固定金利住宅ローンです。

広報部からのお知らせ

広告募集

あなたの会社や 製品を紹介しませんか？

本誌は、日本全国で活躍している工学院大学の卒業生を中心に、役6万7千人に配布しています。貴社の活動や製品・サービスを6万7千人に紹介してみませんか。

〔募集対象〕企業、組織、団体などの広告宣伝など

〔掲載紙〕工学院大学校友会報 Vol.138

〔発行予定日〕2017年4月25日

〔発行部数〕約67,000部

〔主な配布先〕工学院大学、同附属高等学校・中学校の卒業生、専門学校卒業生、卒業生のご父母、現任教員、学園関係者、監督官庁

〔掲載料金〕第2表紙16万円／頁、本文内12万円／頁、6万円／半頁(全頁カラー)

〔募集締切り〕2017年1月15日

〔出稿原稿〕EPS、PDFなど。詳細は工学院大学校友会事務局に。

記事募集

近況を校友会報や ホームページで紹介 しませんか？

広報部では、校友のみなさまの活動を本誌やホームページを使ってお手伝いします。支部、同窓会、同期会主催のイベント案内や参加者募集、楽しかった近況活動など、お気軽にお知らせ下さい。

また、校友のみなさまがご執筆された書籍の紹介もいたしますので、工学院大学校友会事務局にご連絡ください。



〔お問合せ・原稿送付先〕

工学院大学校友会事務局まで(巻末に記載)

編集後記

今年度は理事会メンバーの改選が行われ、広報部もメンバーが一部交代しましたが、引き続き校友会報の編集、校友会ホームページの更新を担当しています。校友会報は年1回の発行ですので、自ずとタイムリーなニュースの提供には限界があります。そこで、最新情報の提供はある程度ホームページに任せ、校友会報は読み物として魅力的な媒体となるように、両者の役割分担を意識しながら編集作業に取り組みました。本号では、各部会からの報告やお知らせ、学園の動向、会員への告知等の恒例の内容に加え、「同窓会特集」と銘打って各同窓会の活動ダイジェストを持ち寄り、会員の皆様に他分野の校友や在学生の様子を知っていただけるコンテンツをご用意

意しました。また、これまで以上に誌面全体のデザイン性を高めるために、細部に至るまで厳しくチェックを行いながら、ようやく発行にこぎ着けました。これからも、母校の動向や校友の躍進ぶりを読みやすい文章、魅力的な誌面でご紹介するとともに、校友会ホームページとの連携、役割分担により、読みたくなる校友会報づくりに取り組んでまいりますので、どうぞご期待下さい。

最後に、本誌の発行に多大なるご支援・ご協力をいただきました学園理事長、大学長、附属中学校・高等学校長、原稿を執筆いただきました会員各位、ならびに広告をご出稿いただきました企業各社に、この場を借りてお礼を申し上げます。

TOKYO URBAN TECH 工学院大学 校友会報 Vol.137

発行日 2016年4月20日

発行 一般社団法人 工学院大学校友会

住所 〒163-8677 東京都新宿区西新宿1-24-2

電話 03-3342-2064 03-3340-1649

FAX 03-3342-2035

メール jimukyoku@kogakuin.or.jp

編集 工学院大学校友会 広報部

〔部長〕澤崎 宏(建築)

〔副部長〕新海俊一(建築)

〔部員〕坂口教子(機械)、浅利信博(化学)、名取勝敏(電気)、佐藤弘規(建築)、田中元樹(高校)、駒崎健一(専門)、井上博明(専門)

印刷・製本・デザイン 日本印刷株式会社

工学院大学校友会 校友会報のホームページはこちらから

<http://www.kogakuin-koyukai.jp/>



